○議長　本日ハ第二百四十二號議案ノ撿視會ヲ開ク例ニ依リ本案ヲ撿視スヘシ

書記官森山茂　左ノ按ヲ朗讀ス

第貳拾六號

明治十年一月第七號布告賣藥規則第十六條及第二十三條中左ノ通删除追加候條此旨布告候事

第十六條　賣藥營業者ノ下（及ヒ請賣者）ノ五字幷（賣藥請賣鑑札料）（賣藥行商鑑札料）ノ二項删除

第二十三條　無鑑札ニテ營業スル者ノ下（又ハ營業者ニ非スシテ私ニ請賣者ニ藥劑ヲ調製セシムル者又ハ請賣者自ラ之ヲ調製スル者）ノ三十八字追加

○議長　本案發議ナキニ依リ決ヲ取ラン本案ヲ不備不明若クハ舊法ニ抵觸ノ廉ナシト思考スル者ハ起立スヘシ

全員悉起立

○議長　全會一致ナルニ依リ本案ハ異議ナク撿視ヲ經過セシ旨ヲ具シ例ニ遵ヒ上奏スヘシ

右訖テ第二百三十七號議按第三讀會ノ會議アリ

元老院會議筆記明治十四年五月十六日

○第二百四十三號議按株式取引條例第二十六條削除ノ件第二檢視會

議長佐々木高行
議長代理

出席議官

一番　津田眞道
三番　本田親雄
四番　野村素介
五番　岩村通俊
七番　柴原　和
八番　黒田清綱
十番　河田景與

元老院會議筆記　明治十四年五月十三日

○第二百四十三號議按　株式取引條例第二十六條削除ノ件　第二讀會

議長代理　佐々木高行

出席議官

十三番　東久世通禧

十四番　安場保和

十七番　鶴田皓

十九番　箕作麟祥

廿一番　河瀬眞孝

廿二番　玉乃世履

廿三番　中村弘毅

廿四番　林友幸

廿五番　大久保一翁

廿八番　山口尚芳

三十一番　伊集院兼寛

三十二番　四條隆謌

三十四番　槇村正直

三十六番　細川潤次郎

三十八番　海江田信義

三十九番　渡邊驥

午前第十時十五分開場

○議長　本日ハ議長不參ニ依リ本官代理ヲ爲シ第二百四十三號議按ノ撿視會ヲ開ク例ニ遵ヒ撿視スヘシ

書記官森山茂　左ノ案ヲ朗讀ス

第二十八號

明治十一年五月第八號布告株式取引條例第二十六條削除候條此旨

布告候事

○議長　發議ナキニ依リ決ヲ取ラン本案ヲ不備不明ノ廉ナシト思考スル者ハ起立スヘシ

全員悉起立

○議長　全會一致ナルニ依リ本案ハ異議ナク撿視ヲ經過セシ旨ヲ具シ例ニ遵ヒ上奏スヘシ

右訖テ號外第二十九號議案ノ第一讀會ヲ開ク

元老院會議筆記明治十四年六月三日

○第二百四十四號議按　農商工諮問會規則撿視會

○第二百四十五號議按　地券證印税改正ノ儀撿視會

○第二百四十六號議按　米商會所條例中改正ノ儀撿視會

○第二百四十七號議按　西洋形權衡製作撿查印章改定ノ儀撿視會

議長代理　細川潤次郎

出席議官十一名

十番　津田眞道

七番　楠田英世

三番　本田親雄

五番　岩村通俊

七番　柴原　和

八番　黒田　清綱

九番　伊丹　重賢

十番　河田　景與

十一番　關口　隆吉

十二番　東久世通禧

十四番　安場　保和

十五番　大給　恒

十七番　鶴田　皓

十八番　津田　出

十九番　箕作　麟祥

廿二番　玉乃　世履

廿三番　中村　弘毅

廿四番　林　友幸

廿五番　大久保一翁

廿六番　神田　孝平

廿七番　水本　成美

三十番　岩下　方平

卅一番　伊集院兼寛

卅二番　四條　隆謌

卅四番　槇村　正直

卅八番　海江田信義

卅九番　渡邊驥

午前第十時十五分開場

○議長　本日ハ正副議長共ニ欠席ニ就本官代理ヲ爲シ第二百四十四號第二百四十五號第二百四十六號及第二百四十七號議按ノ撿視會ヲ開ク例ニ依リテ撿視スヘシ但以上各按皆總テ各位ニ於テ熟覽ノモノナルヘケレハ布告前文ノミヲ朗讀セシメン請フ之ヲ領セヨ

書記官森山茂　左ノ案ヲ朗讀ス

第貳拾九號

各地農商工ノ實況ヲ視察シテ勸業ノ事務ヲ着實ナラシメ倍々其改進ヲ圖ランカタメ今般農商工諮問會規則左ノ通制定候條此旨布告候事

記者曰左案ハ朗讀ナカリシモノト雖モ參照ノ便ニ供スルカ爲メ附錄ス

第一章　府縣農商工諮問會

第一條　各府縣ニ農商工諮問會ヲ置ク

第二條　農商工諮問會ハ凡ソ農商工ニ關スル事件就中海陸ノ運漕道路ノ開鑿港灣ノ修築川渠幷ニ用惡水路ノ疏通惡虫ノ驅除法獸畜類傳染病ノ豫防法山林ノ保蓄栽培伐採各地方ニ適應スヘキ動植物及ヒ器具ノ試驗勸業列品場其他農商工模範建造物設置ノ方法市場ノ興廢幷ニ其規則按ニ就キ農商務卿若クハ府知事縣令ヨリ諮問スル事件ヲ審議シテ其意見ヲ具申シ併セテ農商工ノ盛衰其他ノ統計ヲ調

査スルノ任アルモノトス

第三條　會員ハ府知事縣令其府縣内ニ滿三年以上住居本籍寄留ヲ問ハスシ二十五歳以上ノ男子ニシテ名望アル農商工五名以上十五名以下ヲ選シテ之レニ任ス其任期ハ三ケ年トス但滿期再選スルヲ得

第四條　議長ハ府知事縣令若クハ其代理人之レヲ勤ムヘシ

第五條　書記ハ府知事縣令其屬官中ニ於テ之レヲ命ス

第六條　會議ハ毎年少クモ一回開クヘキモノトシ若シ會員ノ三分一以上ノ請求アルトキハ府知事縣令ニ於テ臨時之ヲ許可スルヲ得

第七條　農商務省ノ官吏農商工上等會員及ヒ農商工諮問會所在府縣ノ官吏ハ會議ニ列シテ意見ヲ述フルヲ得但決議ノ數ニ入ラス

第八條　會議ハ多數ニ決ス可否半ハスルトキハ議長ノ可否スル所ニ依ル

第九條　會員ハ旅費日當ヲ給ス其額ハ該府縣會議員ト同一タルヘシ

第十條　會費中會員ノ旅費日當ハ地方税中勸業費ヲ以テ支辨シ其他ノ雜費ハ府縣廳費ヲ以テ支辨スヘシ

第二章　區及ヒ聯合區町村農商工業議會

第十一條　各府縣ノ區又ハ聯合區町村ニ於テ農業議會若クハ商業議會若クハ工業議會ヲ設立シ或ハ農商工業ノタメ

一ノ議會ヲ設立スルヲ得

第十二條　各議會ハ其農商工業ノ利害ヲ議究シ及ヒ府知事縣令若クハ農商務卿ヨリ諮詢スル事件ヲ審議シ其意見ヲ開申スヘキモノトス

第十三條　各議會ハ其農商工業ノ利害ニ關スル事件ニ付府知事縣令及ヒ農商務卿ニ建議スルヲ得

第十四條　議會ヲ設立セントスルトキハ其區會又ハ聯合區町村會ノ認可ヲ得府知事縣令ヲ經由シテ其願書ヲ農商務卿ニ捧ケ其許可ヲ請クヘシ

第十五條　農工業各議會ノ議員ハ滿二十五歳以上ノ男子ニシテ其議會區域内ニ住居（本籍寄留ヲ問ハス）スル製産者及ヒ該地ノ製産物ヲ賣買スル商人中ヨリ公選シ商業議會ノ議員ハ同上ノ要件ニ適應シタル商人中ヨリ公選シテ府知事縣令ノ認可ヲ請クヘキモノトス但府縣會規則第十三條ノ各欵ニ觸ルヽ者ハ議員タルヲ得ス

第十六條　議員ヲ選擧スルヲ得ヘキ者ハ滿二十歳以上ノ男戶主ニシテ其議會區域内ニ住居（本籍寄留ヲ問ハス）シタル農商工業者ニ限ル但府縣會規則第十三條ノ各欵ニ觸ルヽ者ハ撰擧人タルヿヲ得ス

第十七條　農工業各議會ノ議員ハ二十五人以下トシ商業議會ノ議員ハ五十人以下トシ議員中投票ヲ以テ議長一人副議長一人ヲ選擧スヘシ議員ノ任期ハ三个年トス但滿期再

選スルヲ得

第十八條　議會ノ費用ハ議員選擧人ノ協議費若クハ其議會部區域内ノ協議費ヲ以テ支辨スヘシ

第十九條　各議會ノ細則ハ其議會ニ於テ之ヲ創定シ府知事縣令ヲ經由シテ農商務卿ノ認可ヲ請クヘシ

○議長　發議ナキニ依リ決ヲ取リ本案ヲ不備不明若クハ舊法ニ抵觸ノ廉ナシト思考スル者ハ起立スヘシ

全員悉起立

○議長　全會一致ナルニ依リ次案ニ移ルヘシ

書記官森山茂　左ノ案ヲ朗讀ス

第三拾號

地券證印税左ノ通改正明治十四年七月一日ヨリ施行シ從前ノ證印税則ハ同日ヨリ廢止候條此旨布告候事

記者曰左案ハ朗讀ナカリシモノト雖モ參照ノ便ニ供スルカ爲メ附錄ス

證印税則

地券ニ記セシ	券状壹通ニ付
金高拾圓未滿	三錢
金高拾圓以上貳百圓未滿	千分ノ五 即拾圓ニ付五錢
金高貳百圓以上五百圓未滿	壹圓
金高五百圓以上千圓未滿	壹圓貳拾五錢
金高千圓以上貳千圓未滿	壹圓五拾錢

金高貳千圓以上五千圓未滿　貳圓五拾錢

金高五千圓以上壹萬圓未滿　三圓七拾五錢

金高壹萬圓以上　五圓

左ニ掲クルモノハ劵面代價ノ有無ニ拘ハラス劵狀壹通

金ニ付三錢トス

代換授與幷ニ水火盜難ニヨリ地劵書換

荒地其他無代價地劵授與書換

荒地起返及開墾鍬下年季明其他一筆地ヲ數筆ニ分裂數筆地ヲ一筆ニ合併等ニテ所有主變換セサル地劵書換

○議長　發議ナキニ依リ決ヲ取ン本案ヲ不備不明若クハ舊法ニ抵觸ノ廉ナシト思考スル者ハ起立スヘシ

全員悉起立

○議長　全會一致ナルニ依リ次案ニ移ルヘシ

書記官 森山茂　左ノ案ヲ朗讀ス

第三十一號

明治九年八月第百五號布告米商會所條例中内務省及内務卿又ハ大藏卿トアルハ都テ農商務省及農商務卿ト改正候條此旨布告候事

○議長　發議ナキニ依リ決ヲ取ン本案ヲ不備不明若クハ舊法ニ抵觸ノ廉ナシト思考スル者ハ起立スヘシ

全員悉起立

○議長　全會一致ナルニ依リ次案ニ移ルヘシ

書記官 森山茂　左ノ按ヲ朗讀ス

第三拾貳號

○西洋形權衡製作撿査印章左ノ通改定候條自今左ノ印章ヲ證トシ從前ノ權衡ト同樣相用フヘシ此旨布告候事

○議長 本案ヲ不備不明若クハ舊法ニ抵觸ノ廉ナシト思考スル者ハ起立スヘシ

全員悉起立

○議長 全會一致ナルニ依リ四案倶ニ異議ナク撿視ヲ經過セシ旨ヲ具シテ上奏セン散會セヨ

午前第十時二十七分閉場

元老院會議筆記明治十四年六月二十日

○第二百四十八號議案 教育令中追加布告案 撿視會

議長 議長代理 佐々木高行

出席議官

二番 津田眞道
三番 本田親雄
四番 野村素介
五番 岩村通俊
七番 柴原和
十番 河田景與
十一番 關口隆吉

十二番　東久世通禧
十四番　安場保和
十五番　大給　恒
十七番　鶴田　皓
十八番　津田　出
十九番　箕作麟祥
二十番　九鬼隆一
廿二番　玉乃世履
廿三番　中村弘毅
廿四番　林　友幸
廿五番　大久保一翁

廿六番　神田孝平
廿九番　楠本正隆
三十一番　伊集院兼寛
三十二番　四條隆謌
三十三番　渡邊　昇
三十四番　槇村正直
三十六番　細川潤次郎
三十八番　海江田信義
三十九番　渡邊　驥

午前第九時五十分開場

○議長　本日ハ議長不參ニ依リ本官代理ヲ爲シ第二百四十八號議案

ノ撿視會ヲ開ク例ニ遵ヒ撿視スヘシ

書記官森山茂 左ノ案ヲ朗讀ス

布告案

明治十三年十二月第五十九號布告教育令第十條但書及第四十九條中
左ノ通追加候條此旨布告候事

第十條但書　給料ノ下(旅費職務取扱諸費等)ノ九字ヲ加フ

第四十九條　俸額ノ下(旅費)ノ二字ヲ加フ

○議長　發議ナキニ依リ決ヲ取ラン本案ヲ不備不明若クハ舊法ニ抵觸ノ廉ナシト思考スル者ハ起立スヘシ

全員悉起立

○議長　全會一致ナルニ依リ本案ハ異議ナク撿視ヲ經過セシ旨ヲ具シ例ニ遵ヒ上奏スヘシ

右訖テ第二百四十九號議案ノ第一讀會ヲ開ク

ヲ撿視會ヲ開ク例ニ遵ヒ撿視スヘシ

書記官森山茂左ノ案ヲ朗讀ス

布告案

明治十三年十二月第五十九號布告教育令第十條但書及第四十九條中

左ノ通追加候條此旨布告候事

第十條但書　修業ノ下ニ「[illegible]」ノ九字ヲ加フ

第四十九條　俸給ノ下「旅費」ノ二字ヲ加フ

○議長　右ハ第二百四十九號議案ノ第一讀會ヲ開ク[illegible]ニ抵

ク例ニ遵ヒ上奏スヘシ

○議長　全會一致ナルニ依リ本案ハ異議ナク撿視ヲ經過セシ旨ヲ具

元老院會議筆記明治十四年六月二十日

○第二百四十九號議按石油取締規則布告案第一讀會第二百四十八號議按撿視ノ後開場

議長代理　佐々木高行

出席議官

一番　津田眞道

三番　本田親雄

四番　野村素介

五番　岩村通俊

七番　柴原和

十番　河田景與

十一番　關口隆吉

十二番　東久世通禧
十四番　安場　保和
十五番　大給　恒
十七番　鶴田　皓
十八番　津田　出
十九番　箕作　麟祥
二十番　九鬼　隆一
廿二番　玉乃　世履
廿三番　中村　弘毅
廿四番　林　友幸
廿五番　大久保一翁

廿六番　神田　孝平
廿九番　楠本　正隆
卅一番　伊集院兼寛
卅二番　四條　隆謌
卅三番　渡邊　昇
卅四番　槇村　正直
卅六番　細川潤次郎
卅八番　海江田信義
卅九番　渡邊　驥
內閣委員番外一番　太政官少書記官周布　公平

○議長　第二百四十九號議按第一讀會ヲ開ク各位例ニ遵ヒ發議スヘシ

書記官森山茂　左ノ按ヲ朗讀ス

布告案

石油取締規則別冊ノ通相定候條來ル　月　日ヨリ履行スヘシ此旨布告候事

石油取締規則

第一條

凡石油分ッテ重質油輕質油ノ二種トス

第二條

此規則ニ重質油ト稱スルハ驗温器華氏百四十度以上ノ熱度ニ至ラサレハ引火セサルモノ輕質油ト稱スルハ百三十九度以下ノ熱度ニテ引火スルモノヲ云フ

第三條

凡石油點燈ハ重質油ノ外其用ニ宛ルヲ許サス

第四條

重質油ハ何人ニ限ラス之ヲ購買スルヲ得輕質油ハ醫家化學家藥商工職家ニ於テ藥用試驗用工業用ニ需用ノ外之ヲ購買スルヲ得ス

但輕質油ヲ購買スルトキハ其數量及ヒ需用ノ趣意ヲ詳記シタル證票ヲ購買スヘキ公商ニ交付ス可シ

第五條

石油營業者分ッテ石油壙業者精製者問屋及ヒ小賣商ノ四類トス都テ管轄廳ヘ願出許可ヲ受クヘシ

但壙業者ニシテ精製者及ヒ問屋小賣商ヲ兼業シ問屋ニシテ精製者及ヒ小賣商ヲ兼業シ精製者ニシテ小賣商ヲ兼業スルモ妨ナシ

第六條

壙業者精製者問屋ハ各種ノ石油ヲ貯藏シ及ヒ賣買スルヲ得

但輕質油ハ其公商ニ於テ互ニ賣買スル外ハ第四條但書ニ遵ヒ證票ヲ領收ス可キモノトス

第七條

小賣商ハ重質油ヲ販賣スルモノトス輕質油ヲ貯藏シ及ヒ販賣スルヲ得ス

第八條

壙業者精製者問屋多量ノ石油ヲ貯藏スルハ家屋幷ニ河海着船場ヲ距ル大凡廿五間內外ノ地ニ於テ堅牢ナル倉庫ヲ用フ可シ

但精製所モ亦本條ノ距離ニ遵フ可シ

第九條

前條ニ記スル地所ノ距離及ヒ倉庫精製所ノ構造方ハ都テ管轄廳ニ於テ撿査ノ上認可スヘキモノトス

第十條

問屋ニ於テ石油ヲ購買シタルトキハ其地ノ警察署ヘ屆出重質油ノ撿査ヲ請フヘシ輕質油ハ數量ノミヲ屆出ヘシ警察署ニ於テハ貯藏所ヘ出張シ重質油撿査ノ上査了ノ證印ヲナスヘシ

但各種ノ石油ヲ一倉庫ニ貯藏スルハ妨ケスト雖モ各種區處スヘシ

第十一條
前條査了濟及ヒ屆濟ノ石油ヲ一時住屋內ニ貯藏スルヲ得ルハ問屋ハ重質油四石以內輕質油四斗以內トス小賣商及ヒ需用者ニテ一時貯藏スルヲ得ルハ重質油二石以內トシ容器ハ必ス金屬製ヲ用ルモノトス

但第四條ニ掲載スル輕質油ノ需用者ニ於テ一時貯藏スルハ五升以內トシ容器ハ本條ニ遵フヘシ

第十二條
凡石油ヲ船積シ又ハ陸運スルトキハ必ス其石油タルコ及ヒ其種質ヲ表記スヘシ

第十三條
石油ヲ漕運シ及ヒ陸運スルトキハ其積卸ニ必用ナル時間ノ外波戶場又ハ路傍ニ置クヲ許サス

第十四條
總テ石油ノ賣買及ヒ運搬等ハ日出ヨリ日沒迄ノ間トス

但五升以內ノ重質油ハ本條ノ限ニアラス

第十五條
此規則ニ背ク者ハ貳圓以上貳百圓以下ノ罰金ニ處ス可シ

○番外十一番（周布公平）ニ例ニ遵ヒ本按ノ大要ヲ陳述セン夫レ我邦石油ヲ燈用ニ供スルヤ明治五六年以來年一年ニ增加シ今其跡ニ就テ之ヲ稽フ

レハ明治十年度ノ輸入額千二百萬斤余ニシテ十一年度ハ五千萬斤余十三年度ニ至テハ八千萬斤ニ上レリ獨リ輸入品ノミナラス內地ニモ亦往々之ヲ發見シテ以テ其需用ニ供セリ然ラハ則チ其巨額知ルヘキナリ蓋シ此ノ如ク石油ヲ燈用ニ供スル所以ハ之ヲ彼菜油ニ較フレハ其價直ノ廉ナルト光焔ノ明ナルトノ便アルニヨルナリ然ルニ一利アレハ一害隨フハ事物ノ免カル可ラサル者ニシテ石油ノ爲ニ火ヲ失シテ家財ヲ蕩盡スル等ノ事東京市中ノミニテモ一年百ヲ以テ數フルニ至ル獨リ家財ヲ蕩盡スルノ害ニ止マラス人民ノ燬傷スル者新聞紙上ニ於テモ續續之ヲ見ル此害豈防カスシテ可ナランヤ今其防禦ノ方法ヲ講スルニ石油中ニ就キ其質ノ引火シ易キ者ト引火シ難キ者トヲ區別セサル可カラス現ニ我邦ニ輸入スル所ノ

石油ヲ驗スルニ悉ク外國ニテ其燈用ヲ禁スル所ノ粗惡品ノミ故ニ本按ハ燈用ニ供スル石油ノ度ヲ限ル第二條ノ如クニシ以テ粗惡品ヲ用ヒテ危險ノ害ナカラシメンヿヲ目的トスルナリ猶質疑アラハ逐條答辯セン

○七番（柴原和）　本按大体ニ就テハ之ヲ賛成ス只箇條ニ付二三ノ質疑ヲナサントス第二條ニ重質油ト輕質油トノ解釋アリ思フニ重質油ハタトヘ百石アルモ五十石アルモ引火セサル者ヲ謂フナラン果シテ然レハ第十四條但書ニ但五升以內ノ重質油ハ本條ノ限ニアラスヿトアルハ何故ソヤ是ニ由テ之ヲ觀レハ少量ナレハ引火セサルモ多量ナレハ引火スルカノ疑アリ而シテ又第十一條ニハ貯藏ノ石數ヲ限ラス彼是均ヲ失フニ似タルハ何ソヤ且ヤ百四十度ト百三十九度ト

ハ其差僅ニ一度ナリ此一度ノ差ヲ驗スルハ甚タ難カラン果シテ能ク毫髮ノ間ニシテ判然此ノ如キコトヲ得ル乎疑ヒナキ能ハサルナリ又第四條但書ニ「但輕質油ヲ購買スルトキハ其數量及ヒ需用ノ趣意ヲ詳記シタル證票ヲ購買スヘキ公商ニ交付ス可シ」トアリ之ヲ本條ニ照ヲセハ其所謂公商トハ醫家化學家藥商工職家ヲ包含スルカ如シ故ニ購買ノ字ヲ毒藥規則ノ如ク販賣トセハ或ハ可ナルニ似タリ購買ノ文字ヲ用フルハ他ニ別意アルヤ又第八條ニ「大凡廿五間内外」トアリ若シ之ヲ内ト爲サハ五間モ拾間モ皆内ナラサルハナシ是恐クハ以外ノ誤刷ナラン乎又第十條ニ撿査ヲ請フヘシトアリテ其撿査ノ方法ヲ載セス或ハ器機ヲ以テ之ヲ撿査シ而シテ其證トシテ捺印等ノ事ヲナス乎姦商輩カ其容量ヲ左右スルハ易易ナルヘシ以上數

箇是本官ノ解セサル所ナリ

○番外一番布局公平質疑者ハ第一第二條ニ石數ヲ限ラスシテ第十四條但書ニ石數ヲ限ルヲ看レハ少量ナレハ引火セサルモ多量ナレハ引火スルヤト云テ終ニ第十一條ヲ引用シテ酷ニ論到セリ是レ他ナシ第十四條但書ニ五升以內ト限ルハ石油ハ少量ナリトモ固ヨリ引火ス唯其焔勢強大ナラサルニ由リ之ヲ限制シテ其需用ノ便ヲ與フル者ナリ第十一條ノ場合ハ第四條ノ輕質油取扱ヲ主トシテ立案セシ者ニシテ但書ハ唯其取除ケヲ示スノミ又百四十度ト百三十九度トハ其差僅ニ一度ナレハ之ヲ判別スル實ニ困難ナラント云フ是レ素ヨリ色ノ黑白ヲ識別スルカ如ク一目瞭然ナルコト能ハス重輕質共ニ引火セサルニアラサレトモ器械ニ依テ之ヲ測レハ其熱度ノ遲速僅ニ一度

ノ差ニテ其關係スルヿ甚タ鋭鈍アルニ由ルナリ第三ニ第四條但書ナル購賣ノ意義ヲ問ハル是ハ文字ノ如ク購買者ヨリ公商ニ對スルノ文ニシテ即チ購賣者ニ命スルノ文ナリ故ニ公商ヲ主トシテ文ヲ草シ購買者ハ客トナルアルノミ第四ニ第八條廿五間内外ノ字ハ敢テ深意アルニアラス改メテ以外トスルモ或ハ不可ナカラン第五ニ第十條檢査ノ字アリテ撿査ノ方法ナシト云フ是レ法律ニ示スヲ要セス主任廳自カラ適當ノ方法ヲ設ケテ可ナリトス然レモ已ニ問アレハ參考ノ爲ニ其一班ヲ云ハン例ヘハ第二條ニ示ス如ク果シテ百四十度ニ至ラサレハ引火セサルヤ否ヲ撿スルニハ一器機中ニ白湯ヲ盛リ其中ニ石油ヲ盛リタル茶碗樣ノ器ヲ浮ヘ之ニ驗温器ヲ插下シ而シテ「アルコール」ニテ漸次温熱ヲ與ヘ驗温器ノ度ヲ計リテ之ニ

點火シ其引火スルト否トヲ見テ其度ノ強弱ヲ知ル等實ニ易易之ヲ爲スヲ得ヘキナリ

○十九番（箕作麟祥）本官モ亦一二ノ疑問アリ第一ニ布告按中單ニ月日ヨリトアリテ其何月何日ナルヿヲ示サス他案ニ在テハ此月日ヲ知ルヲ必要トセサルコトアルモ本案ニ在テハ其關係頗ル重大ナルヲ以テ之ヲ知ラサルヘカラス何トナレハ第二條ニ重質輕質ノ區別アルハ引火ノ度數ニ由テ之ヲ爲スナリ今ヤ世ニ夫ノ火止石油ナル者アリ是レ蓋シ重質油ノ類ナラン然レハ則チ火止油外ノ者ハ内閣委員ノ所謂輕質油ノ粗惡品ナリ就テハ本布告ヲ實際ニ施行スルノ日ニ方リ需用者ト販賣者トノ困難ハ想フヘキナリ且ヤ本案第八條ニ廿五間内外ノ地ニ於テ堅牢ナル倉庫ヲ用ヲ可シトアリ而シテ今日府

下田所町ノ如キハ堅牢ナル倉庫ニ多量ヲ貯蓄スル者アラン是等ハ其倉庫如何程堅牢ナルモ家屋ヲ距ル二十五間内外ノ地ニアラサルヲ以テ其實行期日ノ如何ニ關シテハ忽チ規則ニ觸ルヽニ至ラン豈困難ナラスヤ第三ハ第十一條ニ「問屋ハ重質油四石以內輕質油四斗以內トス小賣商及ヒ需用者ニテ一時貯藏スルヲ得ルハ重質油二石以內トシ」云々トアリ是レ第五條但書モ「但礦業者ニシテ精製者及ヒ問屋小賣商ヲ兼業シ精製者ニシテ小賣商ヲ兼業スルモ妨ナシ」トアルニ牽連スル者ナルハ問屋ニシテ小賣商ヲ兼業セハ一人ニテ六石ヲ貯藏スルコトヲ得ルノ姿トナルカ如シ果シテ然ルヤ右兩項或ハ些細ニ似タルモ之ヲ實際ニ徵セハ亦輕視スヘキニアラス敢テ內閣委員ノ明辨ヲ乞フ

○番外一番周布公平　實行期日ノ事ハ內閣ニ於テモ既ニ深ク注意シ尋常布告ノ實行期限ニヨラスシテ六ケ月間ノ猶豫ヲ與フルノ內決ナリ蓋シ布告後六月ヲ經過セハ貯藏倉庫ノ建築モ終リ隨テ精製者モ輩出シ自カラ粗惡品ノ跡ヲ絕ツニ至ルヘシト信スレハナリ又第二問ナル問屋小賣商兼業ノ事ハ論者ノ言ノ如ク六石ヲ貯藏スルヲ許スヘシ何トナレハ賣却ノ額多キカ故ニ之ヲ兼業スレハナリ是レ蓋シ營業ノ便ヲ謀ルニ外ナラサルモノトス

○廿二番玉乃世履　本案第一條ニ石油ニ重質油輕質油ノ二種アルヿヲ示シ第二條ニ其種類ヲ分ツニ熱度ヲ以テセリ本官嚮キニ坊間販ク所ノ火止石油ト尋常石油トヲ取テ之ヲ量水器ニ驗セシニ本按ニ所謂重質油卽チ火止油ハ却テ水上ニ浮フノ結果ヲ見タリ然ラハ則チ物

質上ヨリ其名ヲ下セハ火止油却テ輕質油ト稱スヘキニ似タリ本按ハ何ノ據ル所アリテ輕重ノ字ヲ下タセシヤ

○番外一番 周布公平 本按定ムル所ノ輕重ハ其引火ノ熱度ニ據ル所ニシテ敢テ物質ノ輕重ニヨルニアラス即チ難易ノ意ナリ猶物ノ鋭鈍ヲ稱スルニ輕重ノ字ヲ以テスルカ如シ

○廿六番 神田孝平 第八條ニ「大凡廿五間内外ノ地ニ於テ堅牢ナル倉庫ヲ用フ可シ」トアリ其所謂廿五間トハ大ニ原ク所アリテ然ルヤ本官考フルニ廿五間ノ距離或ハ可不可アランタトヘハ茲ニ人煙稠密ノ市街ヲ距ル廿五間ノ地ニ大貯藏庫アリ不虞ノ發火ニ遇ハンニ石油迸流シテ市街ニ氾濫セハ即チ火焔ノ氾濫スルナリ此場合ニ至ラハ豈容易ニ之ヲ防塞撲滅スルヿヲ得ンヤ嘗テ聞ク佛國某港ニ此ノ如キ

奇禍アリテ碇泊ノ船艦モ其害ニ罹ル者多カリトシ是レ理ノマサニ然ルヘキ事ナリ由テ之ヲ觀レハ廿五間ノ距離モ場所ニ依テハ其安全ヲ期シ難カラン又第十二條ニ「凡石油ヲ船積シ又ハ陸運スルトキハ必ス其石油タルヿ及ヒ其種質ヲ表記スヘシ」トアリテ第十一條ノ如ク其容積ヲ示サス然ルトキハ船積ニハ若干ノ容積アルモ知ル可ヲス夫ノ郵船等ニハ此船危險物ヲ搭載ス等ノ掲示ハ各船共ニ之ヲナスアルモ尚未タ其容積ノ若干ヲ示スヲ見ス故ニ船ニシテ人ヲ乘スル多キ者ニハ石油ヲ積ムヿ若干ヲ超ユ可ラストノ旨趣ヲ明示セハ大ニ可ナルニ似タリ思フニ本按此事ヲ載セサルハ實地爲スヲ得サルニ由ル乎

○番外一番 周布公平 距離廿五間ノ事ハ元ヨリ忖度ニシテ敢テ確然不拔ノ

據ル所アルニアラス然レ𪜈廿五間四方ハ其距離亦近シト云フニモアラサラン石油迸流船艦ヲ燬クノ談ハ理マサニアルヘキ事ナルヘシト雖𪜈倉庫ノ製造法モ亦察セサルヘカラス彼ノ米國ノ如キ石油貯藏庫ノ製タル地面ヲ歪斜シ承クルニ溝ヲ以テシ又承クルニ穴ヲ以テス故ニ發火シテ油桶破裂スルアレハ直ニ斜下シテ穴ニ入リ敢テ四方ニ迸流スルノ虞ナシトス要スルニ此等ハ主任廳ノ處置ニ任セハ可ナラン又第十二條ニハ容積ノ事ヲ示サヽルモ只危險物ヲ搭載ストノ標記ヲナサハ更ニ其量石ノ制限ヲ要セサル可シ且ヤ郵船ノ如キハ其船自カラ規則ノアルアレハ敢テ本案ノ問フヲ要セサル所ナリ

○卅四番（槇村正直）第十條ニ「問屋ニ於テ石油ヲ購買シタルトキハ其地ノ警察署ヘ屆出重質油ノ撿査ヲ請フヘシ」トアリ已ニ問屋ニシテ撿査ヲ受クヘシトセハ精製者モ購買スルトキハ又然ラサルノ理ナシ然ルニ之ヲ問屋ニ限ルハ何ソヤ又第十一條ニ問屋ナレハ四石以内小賣ナレハ二石以内ヲ家ニ貯藏スルノ文意アリ思フニ小賣商ノ家屋ハ問屋ニ比シテ悉ク堅牢ナラスト云フノ理ハアラサルヘシ又本按ノ成ルハ火用心ヲ要點トスルノ說明ヲ聞ケリ然ルニ第十四條ニ「總テ石油ノ賣買及ヒ運搬等ハ日出ヨリ日沒迄ノ間トス」トアリテ其但書ニ「但五升以内ノ重質油ハ本條ノ限ニアラス」トアリ重質油果シテ引火ノ虞ナシトセハ何ソ日出日沒及五升以内等ノ制限ヲ要センヤ若シ又引火ノ虞アリトセハ五升以内ヲ本條外ニ置ク能ハサラン敢テ以上ノ理由ヲ問フ

○番外一番（周布公平）　第十條ハ問屋ニシテ購買シタルトキノ事ヲ云フ者ナレハ精製者ト雖モ問屋ヲ兼業スレハ問屋ノ資格ヲ以テ之カ撿査ヲ受クルハ當然ナリ第十一條問屋小賣商ニ貯藏ノ多寡アルハ問屋ハ一般ニ小賣商ニ比スレハ多量ヲ要スレハナリ又第十四條ノ但書ハ勿論危嶮ノ一點ヨリ論到スレハ之ヲ禁スルニ如クハナシト雖モ需用者不便ノ點ヨリ之ヲ顧レハ亦如何トモスヘカラサルノ情實アリテ存セリ故ニ本條ノ死地僅カニ但書ノ活路ヲ與ヘシナリ

○卅四番（槇村正直）　精製者ニシテ問屋ヲ兼ヌルトキハ問屋ノ資格ヲ以テ撿査ヲ受クルノ事ハ聞クヲ得タリ更ニ問フ第五條中ナル精製者ニシテ小賣商ヲ兼ヌル如キハ如何

○番外一番（周布公平）　第五條ハ四類ノ營業何レヲ兼ヌルモ妨ケナキノ趣意ヲ示スモノナレトモ文章ノ繁密反テ論者ノ疑ヲ來タセル者ノ如シ適當ノ修正ヲ加ヘハ可ナラン

○卅三番（渡邊昇）　第四條但書ノ意ハ素ヨリ取締上ニ外ナラサルヘシト雖モ公商ナル者ハ總テ多額ヲ賣ルヲ望ム者ナレハ其證票ヲ左右スルハ容易ナルヘシ知ラス此證票ヲ一一警察署ニ呈供スル等ノ事アルヘキカ又第八條廿五間内外ノ事ニ付キ内閣委員ハ或論者ノ言ヲ聞キ以外トスル却テ可ナランカト説明セリ然レトモ本官ハ此距離タル實際ニ於テ要用ノ事トス思フニ廿五間ヲ隔テストモ阻スルニ河洲等アルノ地ニ於テハ適當ノ地アルヘシ然ルヲ以外トセハタトヘ如何ナル恰好安全的ノ地アルモ廿五間ニ尺寸ヲ欠カハ之ヲ設立スルヲ得サルニ至ラン豈局促ナラスヤ

○一番 周布公平 番外 ニ公商證票ヲ領受スルハ後日ノ證明ニ供スル爲メナリ
彼ノ石炭酸等取扱ニモ此例アリ然リト雖モ之ヲ主任廳ニ呈供スル
等ノ事ニ至テハ自カラ主任廳ノアルアリ要スルニ證票ノ無益ニ歸
セサル事ハ必スアルヘシ又第八條距離ノ事ニ付テ阻スルニ河アリ
洲アル等ノ地ニ在テハ廿五間ヲ隔テサルモ安全ノ地ヲ得ヘシト云
フト雖モ苟モ石油ヲ運漕スル如キ地ナレハ人ノ通行セサル理ナシ
故ニ廿五間内外ト云ハヽ廿四間ニテモ之ヲ許ルスノ地アルヘキモ
知ルヘカラス是等ハ地方官ノ適當ト思量スル考按ニ任セハ可ナリ

○十九番 作間麟祥 内閣委員ハ第二條熱度ノ事ニ對シテ容易ニ判識スル
コヲ得ト答辨セシカ蓋シ一度ノ差ハ實ニ僅僅タル者ナレハ若シ百
三十九度半ト云フ如キハ輕重何レニ屬スヘキヤ又第八條ニ「石油ヲ
貯藏スルハ家屋幷ニ河海云云ヲ距ル大凡廿五間内外ノ地ニ於テ」ト
アリ其但書ニ「但精製所モ亦本條ノ距離ニ遵フ可シ」トアリ其所謂家
屋ハ自己ノ住家カ又ハ他人ノ住家カ精製所ノ番人等ハ家族ヲ率フ
ル者アラン此ノ如キモナスヿ能ハサル乎

○一番 周布公平 番外 一度半ノ差ハ僅僅ニシテ分析ニ難ム者ナレトモ或ハ四
舍五入法ニモ從ヘハ可ナラン乎第八條ノ家屋ハ勿論自己ノ住家ヲ
モ包含セリ而シテ番人小屋ノ如キハ家屋ノ列ニアラス

○卅三番 渡邊昇 二廿五間内外トアルトキハ地方官之ヲ斟酌スルヲ得ヘシ
○ト法ハ原按ノ如クナラサル可ラス然ルニ先刻内閣委員ハ内外ノ
○字ヲ以外トスルモ或ハ可ナラン乎ト辨明セリ本官太タ疑團ヲ來タ
セリ若シ以外トセハ地方官法律ヲ自在ニ斟酌スヘカラス請フ兩者

一ニ居ルノ答辨ヲ與ヘヨ

○番外一番（周布公平）決答セン廿五間内外ハ廿五間許ト解セハ可ナリトス

○議長　質疑既ニ盡キタリト認ムルニヨリ茲ニ第一讀會ヲ閉ツ第二讀會ハ來廿二日例刻ヨリ之ヲ開カン散會スヘシ

午前第十一時二十分閉場

元老院會議筆記明治十四年六月廿二日

○第二百四十九號議按（石油取締規則布告案）第二讀會（第二百五十號議按撿視會ノ後開場）

議長（佐々木高行代理）

出席議官

一番　津田眞道

三番　本田親雄

四番　野村素介

五番　岩村通俊

七番　柴原和

八番　黒田清綱

十番　河田景與

十二番　關口　隆吉
十三番　東久世通禧
十四番　安場　保和
十五番　大給　恒
十七番　鶴田　皓
十八番　津田　出
十九番　箕作　麟祥
廿一番　河瀬　眞孝
廿二番　玉乃　世履
廿三番　中村　弘毅
廿四番　林　友幸

廿五番　大久保一翁
廿六番　神田　孝平
廿九番　楠本　正隆
三十一番　伊集院兼寛
三十二番　四條　隆謌
三十三番　渡邊　昇
三十四番　槇村　正直
三十六番　細川潤次郎
三十八番　海江田信義
三十九番　渡邊　驥
内閣委員番外一番　太政官少書記官周布公平

○議長　第二百四十九號議按ノ第二讀會ヲ開ク例ニ從ヒ發議スヘシ

書記官森山茂　左ノ案ヲ朗讀ス

布告案

石油取締規則別册ノ通相定候條來ル六月　日ヨリ履行スヘシ此旨布告候事

○三十六番細川潤次郎　建議ヲ爲ス本官ハ該布告按ニ對シテ異議アルニ非サルモ原來石油ノ如キハ一種ノ專門家ニ非サレハ能ク其性質ヲ詳ニスルヿ能ハス然レトモ是レ日常缺クヘカラサルノ要品ニシテ其利用ノ著シキト其害ノ大ナルトハ互ニ相從フハ敢テ喋々ヲ俟タサルナリ故ニ之カ取締規則ヲ制定スルニ於テモ亦宜ク反覆丁寧ニ其調査ヲ爲サヽルヘカラス茲ニ本案第一條ニ「凡石油分ッテ重質油輕

質油ノ二種トス」トアリ前會內閣委員ノ辨明ニ依レハ此輕重ヲ分ツハ其量ノ輕重ヲ云フニ非スシテ其引火ノ鋭鈍ヲ示スニ在リト而ルニ本官之ヲ大學校ノ教師ニ質セシニ名ノ如ク重質油ハ其質重クシテ輕質油ハ其質輕シ某議官カ實際ノ經驗上ヨリ重質油ト稱スル火止石油ハ其量反テ輕クシテ輕質油ト稱スル通常石油ハ反テ重シトノ說ハ蓋シ偶然ノ違蹟ナルヘシト云ヘリ既ニ斯ノ如ク彼是其說ヲ異ニスレハ猶ホ宜ク之ヲ審査シ其實ニ依リテ適當ナル名稱ヲ附セサルヘカラス又第二條ニ「重質油ト稱スルハ驗温器華氏百四十度以上ノ熱度ニ至ラサレハ引火セサルモノ輕質油ト稱スルハ百三十九度以下ノ熱度ニテ引火スルモノヲ云フ」トアリ本官向者別席ニ在テ內閣委員ノ說ヲ聽クニ現時市場ニ販賣スル所ノ火止石油ハ概シテ華

氏驗温器百四十度以上ノ熱度ニ達セサレハ引火セサル者ナルヲ以テ本案ヲ發表スルモ需用者ニ對シテハ實際支障ナシト然ルニ又之ヲ大學教師ニ叩キシニ曰ク大學校ニ於テ其生徒ノ用ニ供スルカ爲メ屢次之カ試驗ヲ爲スニ火止石油ト雖モ華氏驗温器百二十度内外ノ熱度ニテ引火スル者多クシテ其百四十度以上ニ達セサレハ引火セサル者ハ實ニ稀有ナリト果シテ然ラハ本案實施ノ日石油ノ試驗ヲ爲スニ於テ粗惡品ノミ多クシテ吾人ノ供給ニ不足ヲ生シ爲メニ我日本國ヲシテ闇黑ナラシムルカ如キ困難ヲ來スモ亦期スヘカラス聞ク英國ニテハ華氏驗温器百度以上米國ハ同百十度以上墺國ニテハ同百二十二度以上ノ熱度ニ至ラサレハ引火セサル者ヲ以テ燈用ニ供スルヲ許スト蓋シ本邦ノ家屋ハ燃燒シ易キ品質ノ搆造ニ係

ル者多キニヨリ動モスレハ祝融ノ災ニ罹ルノ恐レアリ是本案ノ如ク精品ヲ選フ所以ナルヘシト雖モ此精品ヲ得ルハ實ニ容易ナラス且其質ノ精良ニ從ヒ其價位モ亦貴カルヘキ理ナレハ需用者ノ情態等ヲ參酌セハ叉徒ラニ精良品ヲ擇フノミ以テ上策トスヘカラス況ヤ本案擧ル所ノ度數ノ如キハ歐米各國ニ於テモ未タ曾テ聞カサルノ高度ナルヲヤ依テ彼此ヲ斟酌シ目下本邦ニテ製造シ得ヘキ度數ヲ料リ百二十度以上ナリ百三十度以上ナリ其宜キニ從ヒ之ヲ定ムルヲ可トス其他本案字句ノ修正ヲ要スル者等亦之ナキニ非ス而シテ之ヲ爲スハ一朝一夕ノ能クスル所ニ非サルヘシ故ニ本會ノ始メニ於テ全部付托委員ヲ選定シ之ニ其調査ヲ托セハ尚ホ今日本官等注意ノ足ラサル所ヲモ補フノ便益アルヘシ依テ之ヲ選擇アランヿ

ヲ希望ス

〇七番柴原和　賛成ス抑此石油取締規則ハ警視局ノ草案ニ成リタル由ナルヲ以テ本官曾テ其起草者ニ就テ所見ヲ問ヒシニ本按百四十度以上ニ至ヲサレハ引火セサル者云々トアルモ是レ專ヲ危險ノ豫防ニ熱心スルヨリ出ツルノ制限ニシテ其實百二十度以上ノ者ハ則チ之ヲ用ヒテ妨ケナシト云ヘリ斯ノ如キハ畢竟諺ニ所謂懸直ヲ云フモノヽ如シ豈適當ノ制限ト云ヘケンヤ且本官ハ本案ニ對シ既ニ二三ノ疑點アリシヲ以テ前會之ヲ內閣委員ニ質シタレトモ其答辨ノ如キニテハ却テ益々服シ難キ者アリ其他各位ノ質疑ニ對スル同委員ノ說明ヲ聞クモ或ハ其當ヲ失スル者亦ナキニ非ス依テ本會ニ於テ二三ノ修正說ヲ提出セント欲シタレトモ熟考スルニ本案ハ極メテ緊要的ノ者ナレハ鄭重ニ鄭重ヲ加フルヲ欲スルニヨリ一ニ之ヲ修正委員ニ付托シ其審査ヲ經テ後チ更ニ第二讀會ヲ開クヲ可トス依テ三十六番建議ノ如クナランヿヲ切望ス

〇議長　三十六番ノ建議ニ同意者ハ起立スヘシ

全員悉起立

〇議長　全會一致ナルニ依リ十七番鶴田皓廿九番楠本正隆三十八番海江田信義ヲ以テ本案全部付托委員ト爲ス追テ其報告ヲ俟テ開會スヘシ散會セヨ

午前第十時三分閉場

元老院會議筆記明治十四年七月二十日

○第二百四十九號議案石油取締規則布告案第二讀會續及第三讀會

議長代理佐々木高行

出席議官

一番　津田眞道

四番　野村素介

五番　碧村通俊

七番　柴原和

八番　黑田清綱

十二番　東久世通禧

十四番　安場保和

十六番　鍋島　幹
十八番　津田　出
十九番　箕作　麟祥
廿一番　河瀬　眞孝
廿二番　玉乃　世履
廿三番　中村　弘毅
廿四番　林　友幸
廿五番　大久保一翁
廿七番　山口　尚芳
廿九番　楠本　正隆
三十一番　伊集院兼寛

三十二番　四條　隆謌
三十三番　渡邊　昇
三十四番　槇村　正直
三十五番　淺野　長勳
三十六番　細川潤次郎
三十八番　海江田信義
四十一番　税所　篤

内閣委員番外一番太政官少書記官周布　公平

午前第九時三十五分開場

○議長　本日ハ議長不參ニ依リ本官代理ヲ爲シ第二百四十九號議案第二讀會ノ續會ヲ開ク茲ニ内閣下附ノ原案ト修正案ト二箇アリ仍

テ例ニ從ヒ何レヲ以テ本日ノ問題ト爲スヘキヤヲ決セン即チ修正案ヲ問題ト爲スニ同意者ハ起立スヘシ

全員悉起立

○議長　全會一致ナルニ依リ修正案ヲ以テ問題ト爲ス各位例ニ遵ヒ發議スヘシ

書記官（森山茂）　左ノ案ヲ朗讀ス

布告案

石油取締規則別冊ノ通相定候條來ル　年　月　日ヨリ履行スヘシ此旨布告候事

○二十九番（楠本正隆）　本官ハ修正委員ノ一人ナルヲ以テ此ニ修正ノ理由ヲ陳述シテ各位ノ參考ニ供セントス抑本案ノ旨趣ハ石油引火ノ度ヲ定メテ之カ管理ヲ爲スニ在レハ本官等本案ノ修正ヲ爲スニ於テモ專ヲ此ニ注意セリ夫レ内閣下付ノ原案ハ華氏驗温器百四十度内外ヲ以テ其燈用ニ供スルモノト否トヲ區別セリ而シテ之ヲ化學者ニ質スニ其百四十度以上ニ達セサレハ引火セサルカ如キハ頗ル氣發ノ力ヲ失ヒタルモノニシテ之ニ點火セハ油烟薰蒸シテ火光鮮明ナラスト之ヲ外國ニ徵スルニ英米ハ百度墺ハ百二十二度ヲ以テ區別セリ即チ本邦ハ前會三十六番ノ陳述セシカ如ク從來引火シ易キモノニテ家屋ヲ構造スルニ由リ之ヲ英米等ニ比スレハ危險ノ虞多シ是ヲ以テ漫然英米ノ度ニ據ル能ハスト雖モ濫リニ其度ノ高キヲ欲セハ隨テ多クノ功力ヲ要スルニ由リ其價値モ亦自ラ昂貴シ本邦人ニ限リテ特ニ高價ノ石油ヲ使用セサルヲ得サルノ嫌ヒアルニ至

ル故ニ此ニ彼此ヲ斟酌シテ以テ百二十度ト制定セリ又原案ハ輕質油重質油ノ二語ヲ以テ其度ヲ別チシト雖モ本案ハ之ニ代フルニ第一種第二種ノ名稱ヲ以テセリ是レ徒ニ修正ヲ欲シテ之ヲ爲セシニ非ス原來輕質油重質油トハ化學上氣發油ト否トヲ指名セル用語ナレハ原案ノ如キ意義ニ充テ之ヲ使用スルニ於テハ遂ニ化學上ノ名稱ト混雜ヲ生スルノ恐レアリ依テ其稱呼ヲ改メテ第一種第二種トセリ蓋シ石油ノ本質ヨリ論セハ氣發力烈シク且火光鮮明ナルモノヲ第一種トシ其力ノ微ニシテ火光ノ鮮明ナラサルモノヲ第二種トスルヲ適當ノ順序ト爲スヘキニ似タレトモ本案ハ需用ノ多寡ニ依リ之ヲ定メシヲ以テ斯ノ如ク其順序顚倒ヲ致セリ之ヲ要スルニ何レヲ第一種ト爲スモ均ク是レ石油區別ノ符徵ニ外ナラスシテ事實ニ於テモ毫モ障碍ナシト思考シタルニ依レハナリ又第二種ノ石油ハ洗濯用等ニ於テ最モ有用ナルモノナレトモ小賣商ニ之ヲ販賣セシメサルモノハ燈用石油ニ此ノ如キ制限アレハ火光ノ鮮明ナラサルヲ苦シミ第二種ノ石油ト混交シテ販賣スルノ恐レアルト需用者モ亦其混交物ヲ望ム者アリ又時トシテハ放火等ノ具トナルノ恐レアルトニ依テ其利害ヲ比較シテ職業用ニ供スルノ外都テ其販賣ヲ禁スルモノトス是レ所謂千丈ノ堤モ蟻穴ヨリ崩ルノ恐レアレハナリ修正理由ノ大略ハ以上陳述スルカ如シ尙ホ質疑アラハ之ヲ辨セン

○議長　發議盡タルニ依リ決ヲ取シ本案ニ同意者ハ起立スヘシ

全員悉起立

○議長 全會一致ナルニ依リ本案ニ決ス

○書記官森山茂 左ノ案ヲ朗讀ス

石油取締規則

第一條 石油ヲ分テ二種トス華氏驗温器百二十度以上ノ熱度ニ至ラサレハ引火セサルモノヲ第一種トシ其百二十度ニ達セサルモ引火スルモノヲ第二種トス

○議長 發議ナキニ依リ決ヲ取リ本案ニ同意者ハ起立スヘシ

全員悉起立

○議長 全會一致ナルニ依リ次案ニ移ルヘシ

○書記官森山茂 左ノ案ヲ朗讀ス

第二條 點燈用ニ供スルハ第一種ノ石油ニ限リ第二種ノ石油ハ醫

師化學家藥商工職家ニ於テ業用ニ供スルノ外之ヲ用フルヲ許サス

○議長 發議ナキニ依リ決ヲ取リ本案ニ同意者ハ起立スヘシ

全員悉起立

○議長 全會一致ナルヲ以テ次案ニ移ルヘシ

○書記官森山茂 左ノ案ヲ朗讀ス

第三條 石油營業者ヲ分テ壙業者精製者問屋及ヒ小賣商ノ四類トス都テ管轄廳ノ許可ヲ受クヘシ但シ二類以上兼業スルトキハ別ニ其許可ヲ受クヘシ

○三十六番細川潤次郎 本案ヲ全體ヲ見ルニ之ヲ原案ニ比スレハ大ニ整頓シタリト雖モ此第三條ハ未タ妥當ナラサルカ如シ本條ニハ「壙業

者精製者問屋及ヒ小賣商ノ四類ト区トアレトモ此他小車等ヲ用ヒテ行商スル者アリ想フニ是等モ亦小賣商中ニ含蓄スルノ意ナルヘシト雖モ賣藥規則等ニモ別ニ行商ノ名義アレハ壙業者精製者問屋小賣商及ヒ行商ノ五類トスト改作スルヲ可トス幸ニ賛成者ヲ得テ問題トナランヿヲ希望ス

○十二番（東久世通禧）　賛成

○議長　三十六番ノ修正説ハ賛成者アルニ依リ問題ト爲ス

○番外一番（周布公平）　行商ノ字ヲ附加シテ五類ト爲スノ修正説ハ本案ニ要用ナラサルナリ抑小賣商ト云ハヽ必スシモ肆店ニテ販賣スル者ノミヲ云フニアラス行商モ亦小賣商ニ外ナラサルナリ但三十六番ノ説ノ如ク賣藥規則中行商ノ字ナキニ非サルモ是レ所謂旅商人ノ意

ニシテ其他ノ規則中小賣商ノ外行商ノ目ヲ掲ケタルモノアルヲ聞カス即チ彼石油商ノ小車等ニテ市中ニ行商スルカ如キモ亦是レ小賣商中ニ入ルヘキモノナレハ別ニ行商ノ目ヲ掲載セサルモ實地ニ於テ毫モ支障ナキノミナラス畢竟第五條ニ「販賣ノ時限ハ日出ヨリ日沒迄ノ間トス」第九條ニ「其積卸ニ必用ナル時間ノ外波戸場又ハ路傍ニ置クヘカラス」トノ嚴格ナル規則ヲ要スル精神ヨリ論及セハ行商ノ如キハ敢テ好ム處ニ非サルナリ

○三十六番（細川潤次郎）　目下ノ問題ハ些末ノ事ナレハ熱心論駁セサルモ可ナルニ似タレトモ猶前説ヲ敷衍シテ此ニ一言セン内閣委員ノ辨スル如ク行商ハ小賣商中ニ含蓄セサルニ非ス又賣藥規則ニ謂フ所ノ行商トハ賣藥旅商人ヲ指名セルモノナルヘシ且石油商ハ販賣ノ

為メ彼レノ如ク遠隔ナル地方ニ行旅セサルモノナレトモ茲ニ石油商ニシテ數多ノ行商人ヲ使用スル等ノ事アラハ如何スヘキヤ蓋シ肆店ニ於テハ動モスレハ人目ニ觸ルヽ等ノ恐レアルニ依リ兩種ノ石油ヲ混交シテ販賣スルカ如キ詐欺ハ稀有ナルヘシト雖モ行商ニ至テハ大ニ其虞ナキニアラス何トナレハ傍ラ人ナキノ地ニ至リ之ヲ為ス等前者ニ比スレハ頗ル其便アルニ因テナリ夫レ本案ハ問屋及小賣商ニ就テモ既ニ詐欺ノ恐レアリトシテ數條ノ嚴則ヲ附シタルニ前述ノ如キ最モ恐懼スヘキ行商ノ事ニ附キ一言ノ此ニ載スルコトナキハ寧ロ本案ノ精神ヲ貫カサルモノト云フヘシ依テ修正スルヲ可トス

○議長　發議盡タルニ依リ決ヲ取ン三十六番ノ修正說ニ同意者ハ起立スヘシ

起立者二人

○議長　少數ナルニ依リ三十六番ノ修正說ハ消滅シ本案ニ決ス

書記官森山茂　左ノ案ヲ朗讀ス

第四條　壙業者精製者問屋多量ノ石油ヲ貯藏スル場所及ヒ倉庫精製所ノ構造方ハ都テ管轄廳ニ於テ撿査ノ上認可スルモノトス

○三十三番渡邊昇　本條ハ修正ヲ加フヘシ原案第八條ニハ「壙業者精製者問屋多量ノ石油ヲ貯藏スルハ云々大凡廿五間内外ノ地ニ於テ堅牢ナル倉庫ヲ用フ可シ」トアリ然ルニ本案ノ如ク石油貯藏ノ場所及ヒ倉庫精製所ノ構造方等都テ管轄廳ニ一任セハ或ハ各廳其所見ヲ殊ニシ甲縣ニ於テハ貯藏場等ノ設置ハ人家ヨリ廿間ヲ隔ツルモ猶

危險ナリトシテ之ヲ許サヽルニ乙縣ニ在テハ十五間ノ距離ナキモ之ヲ允スカ如キ差違ヲ生スルヿアランヲ恐ル但本官ト雖モ其距離ヲ定ムルニ於テ隨地悉ク同一ナルハ得テ望ムヘカラスト思考スルモ苟モ之カ標準ト爲スヘキモノアラハ斯ノ如キ大イナル差違ヲ生スルノ憂ナシ仍テ本案ヲ修正シテ第四條云々倉庫精製所ハ家屋幷ニ河海着船場ヲ距ル大凡廿五間以外ノ地ニ於テ管轄廳ノ撿査ヲ經テ設置スヘシトシ尚且地形及ヒ建築ノ摸樣ニ依リ必スシモ此制限ニ則ラサルモ可ナルモノアルヘケレハ之ニ但書ヲ附シテ但管轄廳ニ於テ撿査ノ上地形若クハ建築ノ摸樣ニ依リ危險ノ憂ナシト認ムルモノハ此限ニ在ラスト明示スルヲ可トス夫レ石油ハ火藥ニ亞ク危險的ノモノナルハ普ク人ノ知ル所ナリ是ヲ以テ火藥ニハ其貯藏

場ノ距離等ニ付キ既ニ嚴格ナル制限ノアルアリ然ルニ今此石油取締條例ヲ作ルニ當リ其貯藏場等ニ就テハ慢然之ヲ管轄廳ニ一任シ其準據スヘキ者ヲモ示サヽルハ大ニ權衡ヲ失スルニ似タリ是此修正說アル所謂ナリ幸ニ贊成者ヲ得テ問題トナランヿヲ望ム

○議長　三十三番ノ修正說ハ贊成者ナキニ依リ消滅即チ本案ニ決ス

書記官森山茂　左ノ案ヲ朗讀ス

第五條　第二種ノ石油ハ問屋ヨリ直ニ需用者ニ販賣シ小賣商ハ第一種ノ石油ニ限リ販賣スルヲ得ルモノトス但シ販賣ノ時限ハ日出ヨリ日沒迄ノ間トス

○三十三番渡邊昇　本條ノ但書ハ削除ヲ可トス蓋シ管理上ノ一點ノミニ着目スルトキハ之ヲ刪ル或ハ不可ナリト雖モ顧ミテ今日人民ノ

情體ヲ思察スレハ此存廢ハ中等以上ノ者ニ在テハ痛痒相關セサルヘキモ社會多クノ部分ヲ組織スル所ノ車夫等ノ如キ下等ナル者ニ在テハ之ヲ存スレハ其困難必ス少小ナラサルヘシ理論ハ暫ラク措キ實際ニ就テ之ヲ論セハ是等ノ輩ハ概シテ晝間家ニ在ラス又例ヒ妻子ヲ有スルモ晝間四方ニ奔走シ僅ニ數十錢ヲ得テ以テ當日ノ家計ニ充テ辛ウシテ口ヲ糊スルニ過キサレハ又安ソ特ニ明日石油ヲ購求スルノ料ヲ餘スヲ得ンヤ然ルニ一朝之ニ違背シ夜間ニ之ヲ賣買スル者アレハ忽チ二圓以上ノ罰金ヲ課セラル且本案ハ既ニ燈用ニ供スル石油ハ百二十度以上ノモノニアラサレハ使用スルヲ允サストノ嚴格ナル制限アリ又何ヲ苦シンテカ此ノ如キ苛酷ナル法案ヲ要センヤ内閣モ亦此ニ見ルアッテカ原案ニハ五升以内ノ重質油ハ夜間ト雖モ賣買ヲ允スモノトセリ是等ヲ參酌シ本官ハ此但書ヲ削除シテ日沒後ト雖モ其賣買ヲ許サント欲スルナリ幸ニ贊成者ヲ得テ問題トナランヿヲ望ム

○一番（津田真道）贊成ス日沒トハ尚ホ人色ヲ辨スル時ヲモ稱スルナリ既ニ永日ノ候ニ在テハ日沒後一時間モ尚ホ明ナリ然ルニ是等ノ時分ト雖モ賣買ヲ許サヽルハ苛酷モ亦甚シ宜ク此但書ヲ删除シテ下等人民ノ不便ヲ來スナカランヿヲ期スヘシ

○議長　三十三番ノ修正説ハ贊成者アルニ依リ問題トナス

○七番（柴原和）　三十三番ニ質サン其所説ハ第一種ノ石油ニ限リ夜間ト雖モ販賣ヲ允サントスルモノヽ如シ然ルニ全ク此但書ヲ削除スヘシト云フニ至テハ第二種ノ石油モ併セテ夜間販賣ヲ允サント欲ス

ルニ似タリ其目的果シテ何處ニ在ルヤ

○三十三番（渡邊昇）第二種ノ石油販賣ノ時限ハ日出ヨリ日沒迄ニテ固ヨリ不可ナシ唯第一種ノ石油ニ至テハ前說ノ如キ支障アルニ依テ日沒後ト雖モ販賣ヲ許サントスルナリ且內閣下附ノ原案第十四條ニハ五升以內ノ重質油ト制限アレトモ本官ハ其多寡ヲ問ハス之ヲ許シテ可ナリトス是レ單ニ但書ノ削除說アル所以ナリ

○七番（柴原和）三十三番修正ノ旨趣ハ實際ニ於テ大ニ適切ナルモノト云フヘシ原來燈用石油ノ販賣ヲ日沒迄ト限ラサルモ夜間ハ自ヲ其賣額モ多カラス且既ニ危險ヲ防クニ足ルヘキ百二十度以上ノ制限アリ何ニ據テカ日沒迄ト限リ何升以內ト定ムルヲ要センヤ故ニ本官ハ三十三番ニ對シ大ニ同意ヲ表セント欲スレトモ特ニ此但書ヲ

削除スルノ點ニ至テ左袒スルヲ得ス蓋シ之ヲ削レハ第二種ノ石油モ猶是レ夜間販賣ヲ許容スルニ至ルヘキヲ以テナリ仍テ現問題ノ消滅ヲ俟テ更ニ修正ヲ提出セントス今豫メ其說ヲ述レハ此但書ヲ修正シテ但第二種ノ石油販賣ノ時限ハ日出ヨリ日沒迄トスト爲サントスル是レナリ

○三十三番（渡邊昇）過刻モ陳述セシ如ク第二種ノ石油ハ本官ト雖モ固ヨリ夜間ノ販賣ヲ許容セントスルニ非ス恰モ目下七番ノ陳ルカ如キ旨趣ナリシカ前說中過テ其修正文ヲ述ルヲ脫セリ然レトモ之カ爲メ現問題消滅ニ歸セハ七番修正說ノ出ルヲ俟テ更ニ同意ヲ表スヘキナリ

○七番（柴原和）三十三番ハ前說ノ過誤ヲ正シ更ニ「第二種ノ石油販賣ノ

時限ハ日出ヨリ日沒迄ト迄ト但書ヲ修正スルノ説ヲ提出セハ本官ハ改テ之ニ左袒セント欲スルノミ

○一番（津田眞道）三十三番ハ前説ヲ改メ七番ノ云フ如ク更ニ第二種ノ石油云々ノ修正ニ替ヘハ一層完備ナルヲ以テ本官モ亦之ニ同意スヘシ

○三十三番（渡邊昇）七番一番ノ陳述モアレハ前説ノ不足ヲ補ヒ本官ノ所説ハ但第二種ノ石油販賣ノ時限ハ日出ヨリ日沒迄トストノ修正ナルコヲ茲ニ一言ス

○議長　三十三番ノ修正説ハ目下同議官ノ陳述ニテ更ニ明瞭ヲ加ヘタリ即チ七番一番ノ贊成アルニ依リ改メテ之ヲ問題トナス

○十四番（安場保和）本官ハ現問題ニ左袒スル能ハサルナリ三十三番カ貧者ノ情體ヲ酌量シテ憂慮スル處ハ敬服スルニ堪ヘタリト雖モ管理ノ須要ナルニ較フレハ是等ハ敢テ顧ミルニ暇マアラサルナリ本官ハ當初内閣下附ノ原案第十四條ニ五升以内云々ノ特許アルモ尚ホ本案管理ノ精神ヲ貫徹セサランコヲ顧念シタリ修正委員モ亦此ニ見ルアッテカ本案ニ此特例ヲ掲載セサリシナリ若シ其レ三十三番陳述ノ如ク下等人民ニシテ會マ不便ヲ感スル者アルモ田舍等ニ在テ晝間石油ノ購求ヲ怠リタル時ノ如キハ菜油ヲ用フルモ可ナリ炬火ヲ用フルモ亦可ナリ且多量ノ石油ヲ要スル者ニシテ晝間之ヲ購求セサルカ如キハ畢竟不注意ト云フヘシ是等些末ノ事ハ拘々セス

○シテ宜ク本案ノ精神ヲ全フスルヲ是レ望ムヘシ蓋シ従來石油ノ爲メ祝融ノ災ヲ惹起セシハ概シテ夜間之カ賣買ヲ爲スニ根スル者ノ

ミ鑑ミスンハアルヘカラサルナリ

○七番（柴原和）十四番ハ管理ノ大切ナルニ比スレハ夜間石油ノ販賣ヲ禁スルモ或者ニ對シテノミ些々タル不便アルニ止マレハ顧ミルニ暇マアラサルナリト辨駁スレトモ本官ヲ以テ之ヲ看レハ是レ決シテ些事ニ非ス頗ル緊要ノ事ナリトス又論者ハ從前石油ヨリ火ヲ失セシハ概シテ夜間其販賣ヲ禁止セサルニ由ルヲ以テ夜間賣買ヲ許スノ不可ナルヲ証明スルニ足ルヘシト云フモ從前石油ヨリ火ヲ失シタルハ是レ其石油ニ制限ナクシテ燈用ニ供スルモノモ尙ホ百度未滿ノモノヲ用ヒタルニ起因セリ今ヤ其制限確定シタル以上ハ又何ノ恐レカ是レアラン必竟此駁議ハ一ヲ知テ其二ヲ知ラサルモノト云フヘシ要スルニ論者ハ石油ヲ以テ危險ノ甚タシキモノトシテ頻リニ管理ノ嚴密ナランヿヲ欲スルカ如キモ既ニ其危險ナルカ爲メ本案ニ百二十度內外ノ制限ヲ設ケテ容易ニ引火セサルモノニ限リ燈用ニ供スルヿト定メタレハ夜間之カ賣買ヲ許容スルモ萬々恐ルヘキニ非サルナリ是レ本官ノ現問題ニ左袒セシ所以ナリ

○三十三番（渡邊昇）十四番ノ反對說ハ疾ク七番ノ駁スル處トナリタレトモ本官モ亦此ニ一言セン十四番ハ日ク從來石油ヨリ火ヲ失スルハ概シテ夜間其販賣ヲ禁止セサリシニ由ルト是レ蓋シ購求者ハ火ヲ携ヘテ行キ販賣者モ亦火氣アル處ニ於テ其受授ヲ爲スニ依リ過テ火ヲ失スル事多キヲ云フナルヘシ然ルニ販賣者ハ日常其取扱ヲ爲スニ依リ自ラ其事ニ煉熟スルヲ以テ危險ノ虞少ナク反テ需用者カ少量ノ石油ヲ購求シテ歸家シ之ヲ他ノ容器ニ移スカ如キ時ニ當

リ其取扱ニ習熟セサルヨリ火ヲ失スルモノ多キニ居ルモ亦未タ知ルヘカラスト雖モ從來石油商ノ家ニ在テ火ヲ失シタルハ概シテ第一種ト第二種ト石油ノ區別ヲ爲サヽルニ先チ其容器ヨリ他ニ移スノ時ニ在ルノミ然レトモ是等ノ如キハ今回嚴格ナル制限ニ仍テ爾來其憂ヲ要セサルナリ即チ但書ノ删除ヲ欲スル所以ナリ

○議長　發議盡タルニ依リ決ヲ取ン三十三番ノ修正說ニ同意者ハ起立スヘシ

　起立者四人

○議長　少數ナルニ依リ三十三番ノ修正說ハ消滅シ本案ニ決ス

　書記官（森山茂）　左ノ案ヲ朗讀ス

第六條　醫師化學家藥商工職家第二種ノ石油ヲ購買スルトキハ其數量及ヒ需用ノ趣意ヲ詳記シタル證票ヲ問屋ニ交附スヘシ問屋ハ其數量年月日及ヒ買人ノ住所氏名ヲ別帳ニ記載シ其證票ヲ貯ヘ置クヘシ但シ幼年者及ヒ瘖者聾者其他不能力ノ者ニハ販賣スヘカラス

○十九番（箕作麟祥）　本案ハ簡單ニシテ明瞭眞ニ完備ノ法案ト云フヘキモ本條但書中瘋癲者ヲ列記セサルハ少シク足ラサル所アルカ如シ仍テ幼年者及ヒノ下瘋癲者ノ三字ヲ加ヘ又「不能力」ヲ無能力ト改作スルヲ可トス蓋シ「不」ヲ無ニ作ルハ治罪法ニ其文例アリタリト思考スルニ依テナリ

○議長　十九番ノ修正說ハ贊成者ナキニ依リ消滅シ本案ニ決ス

　書記官（森山茂）　左ノ案ヲ朗讀ス

第七條　警察署ハ石油精製所若クハ問屋ニ就テ石油ヲ撿査スヘシ
其撿査ヲ經タルモノニアラサレハ問屋又ハ小賣商ヨリ需用者ニ
販賣スルヲ得ス

○三十六番（細川潤次郎）　些々タル事ナレトモ文字上ニ係リ一修正ヲ提出セントス本條ニ「警察署ハ云々問屋ニ就テ石油ヲ撿査スヘシ」トアリ夫レ署トハ官衙ノ事ニシテ無生活物ナレハ固ヨリ問屋ニ到ルノ理ナシ是レ官吏ト云フノ誤謬ナル乛疑ヒナキナリ仍テ「警察署」ヲ警察官吏ト改作スルヲ可トス葢シ此修正ハ必ス賛成者ヲ得ルヲ信スルナリ

○一番（津田眞道）　賛成ス三十六番ノ明察ノ如シ

○議長　三十六番ノ修正説ハ賛成者アルニ依リ問題ト爲シ直ニ決ヲ取ンカ之ニ同意者ハ起立スヘシ

起立者二十人

○議長　多數ナルニ依リ三十六番ノ修正ニ決ス

書記官（森山茂）　左ノ案ヲ朗讀ス

第八條　撿査濟ノ石油ヲ家屋內ニ貯藏スルヲ得ルハ問屋ハ第一種ノ石油五石以內第二種ノ石油五斗以內トス小賣商ハ第一種ノ石油三石以內トシ需用者ハ第一種ノ石油二石以內第二種ノ石油五升以內トス容器ハ都テ金屬製ヲ用フヘシ

○議長　發議ナキニ依リ決ヲ取ン本案ニ同意者ハ起立スヘシ

全員悉起立

○議長　全會一致ナルニ依リ本案ニ決ス

○書記官（森山茂）左ノ案ヲ朗讀ス

第九條　石油ヲ運搬スルトキハ其石油タルコト及ヒ其種類ヲ表記スヘシ但シ其積卸ニ必用ナル時間ノ外波戸場又ハ路傍ニ置クヘカラス

○議長　發議ナキニ依リ決ヲ取ン本案ニ同意者ハ起立スヘシ

全員悉起立

○議長　全會一致ナルニ依リ本案ニ決ス

書記官（森山茂）左ノ案ヲ朗讀ス

第十條　此規則ニ背ク者ハ貳圓以上貳百圓以下ノ罰金ニ處ス

○三十三番（渡邊昇）本官ハ過刻石油ノ販賣時限ニ係リ修正ヲ提出シタレトモ其說ノ消滅シタル以上ハ本條ニ於テ特ニ修正ヲ加ヘサルヘ

カラサルナリ想フニ本案ノ如ク販賣時限ヲ日沒迄ト制定スルニ於テハ爾來續々犯則者ヲ輩出スヘシ而シテ是等ハ皆本條ニ依リ貳圓以上ノ罰金ニ處セサルヲ得ス蓋シ單ニ管理上ヨリ之ヲ見ハ罰金額ハ貳圓以上トアルニ比セハ三圓以上若クハ五圓以上トアル方一層其目的ヲ達スルニ幾カルヘシト雖モ其最下額ヲ多キニ定ムルニ於テハ何程罪狀ノ輕キ者アルモ其制限以外ニ及フ能ハス茲ニ石油商ハ日沒前ト思考シテ石油ヲ販賣センニ警察官吏ハ日沒後トシテ之ヲ官衙ニ拘引シ罰金ヲ課スルカ如キモ亦猶貳圓ヨリ下スヲ得ス酷モ亦甚シト云フヘシ仍テ「貳圓以上」ヲ貳拾五錢以上ト改作スルヲ可トス幸ニ贊成者ヲ得テ問題トナランコトヲ望ム

○議長　三十三番ノ修正說ハ贊成者ナキニ依リ消滅シ本案ニ決シ即

テ此ニ第二讀會ヲ閉ツ

○番外一番（周布公平） 建議ヲ爲ス本案ハ實地或ハ學術上ニ就キ數週間修正委員ノ綿密ナル調査ヲ經テ編成ナリタルニ由リ平易ニ本會ヲ經過シタル程ナレハ次會ニ於テモ亦大ナル異論ナカルヘキヲ信ス且第一讀會ノ時ニ當リ辯明シタルカ如ク石油管理ノ一日モ忽諸ニ付スヘカラサルハ各位ノ知領スルカ如シト雖モ本案ハ頒布後少クモ六箇月ヲ經過スルニ非サレハ實行スル能ハサルニ依リ頒布ノ一日モ急速ナランヲ欲スルヲ以テ此ニ成規ニ拘ラス直ニ第三讀會ヲ開カレンコトヲ請フ

○議長 內閣委員ヨリ引續第三讀會ヲ開クノ請求アリ之ニ同意者ハ起立スヘシ

起立者二十二人

○議長 多數ナルニ依リ引續第三讀會ヲ開ク

出席 十番 河田景與

○三十六番（細川潤次郎） 第三讀會ニ於テハ全部ノ朗讀ヲ省略シテ直ニ決議シタル慣例モアレハ本日モ亦之ニ據テ直ニ決ヲ取ラレンコトヲ建議ス

○議長 三十六番ノ建議ニ同意者ハ起立スヘシ

起立者二十四人

○議長 多數ナルニ依リ三十六番ノ建議ニ決シ朗讀ヲ略シテ直ニ議定ニ附ス各位例ニ依テ發議スヘシ

○七番（柴原和） 第二讀會ニ於テ十九番ヨリ第六條幼年者及ヒノ下ニ瘋

癲者ノ三字ヲ加ヘ且不能力ヲ無能力ニ改ムルノ說アリテ終ニ消滅シタレトモ殊ニ「不能力」ヲ無能力ニ作ルハ治罪法議定ノ時ニ於テモ例アルコトナレハ更ニ之ヲ改メントスルナリ幸ニ定數ノ贊成者ヲ得テ問題トナランコトヲ望ム

○十四番（安場保和） 贊成

○三十四番（槇村正直） 贊成

○十九番（箕作麟祥） 贊成

○二十二番（玉乃世履） 贊成

○三十三番（渡邊昇） 贊成

○議長 七番ノ修正說ハ定數ノ贊成者アルニ依リ問題ト爲ス

○番外一番（周布公平） 本條閭屋ハ「其數量年月日」云々以下都テ內閣下附ノ原案ニハ掲載セサリシモノト雖モ之ヲ加フルモ障礙ナキニ依リ本員ハ異議ヲ唱ヘサリシニ目下不能力ヲ無能力ニ作ラントスルノ說アリ蓋シ不無何レノ字ニ決スルモ妨ケナシト雖モ劇藥取締規則ニモ不能力ノ者トアリ素ヨリ不能力ナル語ハ律文ノ體ヲ爲サヽルカ如キモ之カ爲メ之ヲ改作スルニ於テハ本條中「買人」ナル語モ亦改メサルヘカラス其他改正ヲ要スル者一二ニ止マラサレハ寧ロ本案ヲ可トス

○議長 發議盡タルニ依リ決ヲ取ン七番ノ修正說ニ同意者ハ起立スヘシ

起立者十一人

○議長 少數ナルニ依リ七番ノ修正說ハ消滅ス

○三十四番（槇村正直）　第九條ノ但書ハ削除ヲ可トス第二讀會ニ於テ某議官ノ陳述アリシカ如ク石油ニモ行商アリ故ニ此但書ヲ削ラスンハ該商ハ何ノ處ニカ得テ其輪車ヲ置ン本官嘗テ東海道ヲ經歴セシ時往々休憩場及茶酒店等ニ石油商ノ輪車アリ傍ラニ車夫馬丁等ノ恬然吃烟スル者アルヲ目擊セリ實ニ寒心スヘキナリ斯ノ如クンハ寧ロ之ヲ路傍ニ置クノ勝レルニ如カス仍テ此但書ヲ除去スヘシ幸ニ定數ノ贊成者ヲ得テ問題トナラハ猶詳論スル所アラントス

○二十四番（林友幸）　贊成

○議長　三十四番ノ修正說ハ贊成者定員ニ滿タサルニ依リ消滅シ即チ本案全體ニ就キ決ヲ取ン之ニ同意者ハ起立スヘシ

全員悉起立

○議長　全會一致ナルニ依リ本案ニ決シ此ニ第三讀會ヲ畢ル決議ノ次第ハ例ニ遵ヒ具上スヘシ散會セヨ

午前第十一時十五分閉場

元老院會議筆記明治十四年六月廿二日

○第二百五十號議按 開拓使管下渡島釧路兩國內合郡名稱變更等ノ儀布告案 撿視會

議長代理 佐々木高行

出席議官

一番 津田眞道

三番 本田親雄

四番 野村素介

五番 岩村通俊

七番 柴原和

八番 黑田清綱

十番 河田景與

元老院會議筆記 明治十四年六月廿

○第二百五十號議按

議長 代理 佐々木高行

出席議官

十一番	關口	隆吉
十二番	東久世通禧	
十四番	安場	保和
十五番	大給	恒
十七番	鶴田	皓
十八番	津田	出
十九番	箕作	麟祥
廿一番	河瀬	眞孝
廿二番	玉乃	世履
廿三番	中村	弘毅
廿四番	林	友幸

廿五番	大久保一翁	
廿六番	神田	孝平
廿九番	楠本	正隆
三十一番	伊集院兼寛	
三十二番	四條	隆謌
三十三番	渡邊	昇
三十四番	槇村	正直
三十六番	細川潤次郎	
三十八番	海江田信義	
三十九番	渡邊	驥

○議長 午前第九時四十分開場

○議長　本日ハ議長不參ニ依リ本官代理ヲ爲シ第二百五十號議案ノ撿視會ヲ開ク例ニ依リ撿視スヘシ

書記官森山茂　左ノ案ヲ朗讀ス

布告案

開拓使管下渡島釧路兩國ノ内左ノ通合郡名稱變更候條此旨布告候事

渡島國　福島郡　津輕郡

右二郡ヲ合セテ松前郡ト改稱

釧路國　網尻郡

右北見國ヘ編入網走郡ニ合セ網走郡ト稱ス

○議長　發議ナキニ依リ決ヲ取ン本按ヲ不備不明若クハ舊法ニ抵觸ノ廉ナシト思考スル者ハ起立スヘシ

全員悉起立

○議長　全會一致ナルニ依リ本案ハ異議ナク撿視ヲ經過セシ旨ヲ具シテ上奏スヘシ

右訖テ第二百四十九號議按ノ第二讀會ヲ開ク

元老院會議筆記明治十四年七月一日

○第二百五十一號議案火藥條例第一讀會

議長　大木喬任

出席議官

一番　津田　眞道
二番　楠田　英世
三番　本田　親雄
四番　野村　素介
五番　岩村　通俊
七番　柴原　和
九番　伊丹　重賢

十番　河田景與
十二番　東久世通禧
十五番　大給恒
十六番　鍋島幹
十七番　鶴田皓
十九番　箕作麟祥
廿一番　河瀬眞孝
廿二番　玉乃世履
廿三番　中村弘毅
廿四番　林友幸
廿五番　大久保一翁

廿六番　神田孝平
廿九番　楠本正隆
三十番　岩下方平
卅二番　四條隆謌
卅三番　渡邊昇
卅四番　槇村正直
卅六番　細川潤次郎

内閣委員番外一番　太政官大書記官　渡正元

午前第十時七分開場

○議長　第二百五十一號議案ノ第一讀會ヲ開ク例ニ遵ヒ發議ス可シ

書記官森山茂　朗讀

布告案

火藥條例別冊ノ通相定メ來ル十五年　月　日ヨリ施行候條此旨布告候事

但此條例ニ矛盾スル從前ノ成規ハ總テ廢止トス

火藥條例

第一章　總則

第一條　凡ソ火藥裝彈雷管（火藥裝彈雷管倶ニ諸種類ヲ含有ス以下倣之）ハ陸軍海軍兩省ノ外之ヲ製造スルコヲ禁ス

第二條　人民需用ノ火藥裝彈雷管ハ左ノ需用ヲ限リ人民ニ其賣買營業ヲ許ス

坑業及ヒ道路開鑿又ハ煙火其他職業用

西洋形船舶設備ノ大礮小銃及ヒ免許銃（獵銃並ニ和銃玉目四匁八分以下但開拓使管下ハ玉目拾匁以下）其他官署ノ撿印ヲ受ケタル銃用

第三條　火藥裝彈雷管賣買營業ノ爲メ卸賣小賣商ヲ免許スヘシ但使府縣管內ニ於テ卸賣商ハ五人以內小賣商ハ拾人以內トス

第四條　卸賣若クハ小賣商タラント欲スル者ハ使府縣廳（東京ハ警視廳以下倣之）ヘ願出テ免許鑑札ヲ受クヘシ

第五條　使府縣廳ニ於テハ本人ノ身元ヲ調查シ確實ナリト認ムル者ハ免許鑑札ヲ與フヘシ

第六條　使府縣廳ニ於テ卸賣若クハ小賣商ヲ免許シタル時ハ住所族籍氏名ヲ具シ其時々內務陸海軍ノ三省ヘ申報スヘシ

第七條　免許商ヨリ届出タル賣買貯藏ノ數量ハ使府縣廳ニ於テ別表ノ如ク總計表ヲ製シ毎半年一月七月内務陸海軍ノ三省ヘ申報スヘシ

第二章　賣買

第八條　御賣商ハ鎭臺東京大坂砲兵方面ハ營所又ハ函館砲臺及ヒ東京海軍火藥製造所ヨリ其需用ノ火藥裝彈雷管ヲ買受ケ之ヲ小賣商ヘ賣渡シ又自カラ小賣ヲ爲スコヲ得

第九條　銃獵職獵室内射的營業及ヒ烟火製造ノ免許ヲ得タル者ハ其免狀又ハ許可證等ヲ免許商ニ示シ直チニ其需用ノ火藥裝彈雷管ヲ買受クルコヲ得其一回ニ買受ケ得ルノ量ハ各種左ノ程限ヲ超ユヘカラサルモノトス

職獵銃用	火藥壹貫目
	裝彈千發
	雷管貳千粒
室内銃用	雷管三萬粒
烟火製造用	火藥五貫目

第十條　第九條ノ免許ヲ得タル者ニ非スシテ遊獵射的等ノ爲メ火藥裝彈雷管ヲ買ハントスル時遊獵ハ其免狀ヲ免許商ニ示シ又射的等別ニ免狀ナキ者ハ警察署ノ認可ヲ受ケ其證ヲ免許商ニ示シ買受クルコヲ得其一回ニ買受ケ得ルノ數量ハ各種左ノ程限ヲ超ユヘカラサルモノトス

但陸海軍准士官以上ノ武官ニ限リ其省ノ認可證ヲ得テ此程限

ヨリ三倍迄ノ數量ヲ買受クルコヲ得

遊獵其他官署ノ撿印ヲ受ケタル銃用　火藥百目　裝彈百發　雷管貳百粒

室內銃用　雷管千粒

第十一條　坑業及ヒ道路開鑿其他職業用ノ火藥ヲ買ハント欲スル者ハ其時々需用ノ旨趣及ヒ數量ヲ詳記シ滿壹貫目迄ハ警察署壹貫目以上ハ使府縣廳ノ認可ヲ受ケ其證ヲ免許商ニ示シ買受クヘシ

第十二條　開港開市場ニ於テ免許商ヨリ外國人ニ火藥裝彈雷管ヲ賣渡サントスル時ハ第十條ノ程限內ニアルモノハ警察署ノ認可

ヲ受ケ其程限以上ハ使府縣廳ヘ願出テ使府縣廳ハ陸軍省其海用ニ係ルモノハ海軍省ヘ具申シ其指揮ヲ乞フヘシ

第十三條　獵銃射的銃拳銃等ノ內特殊ノ銃器ニ用フル火藥裝彈雷管若クハ坑業其他開鑿等ニ用フル爆發火藥ヲ外國人ヨリ買入ントスル時ハ其買受人又ハ免許商ヨリ使府縣廳ヘ願出テ使府縣廳ハ陸軍省其海用ニ係ルモノハ海軍省ヘ具申シ其指揮ヲ乞フヘシ

第十四條　西洋形船舶設備ノ大砲小銃用彈藥ハ第九條ノ手續ニ準シ其數量ハ明治八年第九拾八號布告ノ第二條（大砲一門ニ彈藥五拾發小銃一挺ニ同百發ヲ超ユヘカラス）ニ従フヘシ但雷管ハ四千發ヲ超ユヘカラス

第十五條　免許商ハ買受人示ス所ノ免狀又ハ認可證ヲ撿シ前條々ノ數量程限ニ照シ賣渡スヘシ但其買受人ノ住所族籍氏名及ヒ數

量年月日ヲ詳記シ翌月十日迄ニ警察署ヘ屆出ヘシ

第十六條　免許商ハ武官並ニ其他ノ者ヨリ所有ノ火藥裝彈雷管ヲ買受ケントスル時ハ其賣主ト連署シ使府縣廳ノ認可ヲ受クヘシ

第十七條　免許商ハ火藥裝彈雷管ヲ買受クル度每ニ警察署ヘ屆出ヘシ

第三章　貯藏

第十八條　火藥裝彈ヲ貯藏セントスル者ハ左ノ條款ニ從ヒ使府縣廳ヘ願出テ許可ヲ乞フヘシ其壹貫目ヲ超過セサルノ火藥千發ヲ超過セサルノ裝彈ヲ堅牢ノ倉庫內又ハ火氣遠隔ノ所ニ貯藏スルモノハ此限ニ在ラス但强盛ノ爆發力ヲ有スル火藥ダイナマイト綿焰硝ノ類ハ必ス別段ノ許可ヲ乞フヘシ

第十九條　壹貫目以上五貫目迄ノ火藥裝彈裝彈及ヒ烟火ハ只火藥量ノミヲ算ス以下倣之ハ何ノ地ヲ問ハス人家ヨリ七間以上五貫目以上五拾貫目迄ハ三拾間以上隔離スル倉庫ニ非サレハ貯藏スヘカラス

第二十條　五拾貫目以上ノ火藥貯藏庫ハ左ニ記列シタル土地ニ於テハ設置スヘカラス

御陵墓及ヒ官國幣社區域外ヨリ拾五町以內ノ地

三府幷ニ開港場ハ其市街外ヨリ八町以內ノ地

陸海軍省所轄ノ火藥製造所火工所兵營及ヒ火藥庫牆壁外ヨリ八町以內ノ地

人家幷ニ道路里道以上及ヒ鐵道ヨリ八町以內ノ地

第二十一條　火藥貯藏庫ハ嚴ニ爆發ヲ豫防シ內部ニ鐵釘等ヲ露ハサス磚石ヲ用ヒサル

類ノ周圍貳間以上ヲ隔テ、堅牢ナル牆壁（高サ一丈以上）ヲ築キ避雷針ヲ設ケ赤地ニ火藥ノ二字ヲ書シタル旗章ヲ建ツヘシ火藥五貫目以上ノ貯藏庫ハ其牆壁外凡ソ拾四間以内ノ地ニ於テハ建造物ヲ設ケ若クハ材木草秣其他燃質物ヲ蓄積スヘカラス

第四章　運搬

第二十二條　五貫目以上ノ火藥ヲ運搬セントスル時ハ豫メ其數量及ヒ發着場所日時幷ニ通過スル水路陸地ノ名稱ヲ詳記シ警察署ノ許可ヲ受クヘシ但五貫目未滿ト雖モ風雷ノ烈シキ際ハ特ニ警察署ノ許可ヲ得ルニ非サレハ運搬スヘカラス

第二十三條　運搬ノ火藥ハ樽或ハ箱（鐵釘ヲ用ヒサルモノ）ニ入レ莚包若クハ繩巻ト爲シ晴雨ニ拘ラス毛布ノ類ヲ以テ其上ヲ覆ヒ赤地ニ火藥

ノ二字ヲ書シタル小旗ヲ建テ必ス護送人ヲ附スヘシ但水路運漕ニ方リ船積スルノ法ハ明治六年第貳百九拾貳號布告ニ從フヘシ

第二十四條　途中ハ都テ火氣ヲ警シメ若シ休息スル時ハ人家ヨリ凡ソ貳町以外隔テタル所ニ限ルヘシ

第二十五條　途中宿泊ヲ要スル時ハ人家稀疎ノ地ニ於テ堅牢ノ倉庫ニ保藏シ徹夜看守人ヲ附スヘシ

第五章　罰則

第二十六條　左ノ諸件ヲ犯ス者ハ二月以上二年以下ノ懲役貳拾圓以上貳百圓以下ノ罰金ニ處ス

但火藥類（裝彈雷管共以下倣之）及ヒ製造器械アラハ倶ニ沒收スヘシ

軍用ノ火藥類ヲ窃ニ製造シタル者

軍用ノ火藥類ヲ窃ニ外國人ヨリ買入タル者

第二十七條 左ノ諸件ヲ犯ス者ハ一月以上一年以下ノ懲役拾圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

但火藥類及ヒ製造器械アラハ倶ニ沒収スヘシ

軍用ノ火藥類ヲ窃ニ販賣シタル者

軍用ニアラサル火藥類ヲ窃ニ製造シ又ハ窃ニ賣買シタル者

第二十八條 左ノ諸件ヲ犯ス者ハ貳圓以上貳拾圓以下ノ罰金ニ處ス

但其火藥類ハ之ヲ沒收スヘシ

免許ヲ得スシテ軍用ニアラサル火藥類ヲ貯藏又ハ運搬シタル者

火藥類買入ノ認可證ヲ再用シタル者

本條例中ニ禁止シタル條款ニシテ罰則中ニ其明文ナキ諸件ヲ犯シタル者

附則

從前免許ヲ得タル火藥裝彈雷管製造人ハ來ル十五年　月　日ヲ限リ其製造諸器械及ヒ製造火藥裝彈雷管ヲ詳記シ使府縣廳ヘ願出ルニ於テハ相當ノ代償ヲ以テ之ヲ買上クヘシ

開拓使
東京警視廳
府　縣

明治何年自一月至六月管內火藥類總計表

品種	買高		外國	賣高		外國	現貯藏數量	
	卸賣商人	小賣商人		卸賣商人	小賣商人		卸賣商人	小賣商人

火藥				裝彈				雷管			
坑業及道路開鑿用	烟火等職業用	免許銃其他官署ノ撿印ヲ受ケタル銃用	合計	免許銃其他官署ノ撿印ヲ受ケタル銃用	西洋形船舶設備 大砲用	西洋形船舶設備 小銃用	合計	免許銃其他官署ノ撿印ヲ受ケタル銃用	西洋形船舶設備大砲小銃用	室內銃用	合計

○番外一番正元渡 內閣委員ノ職ニ依リ爰ニ本案起草ノ理由ヲ開陳セン

夫レ火藥取締規則ハ一昨十二年四月廿三日ヲ以テ本院ノ議定ニ付セラレ同年十一月五日決議上奏ナリタリト雖モ該規則ノ主義ハ火藥ノ製造ヲ人民ニ許シ官府ニテ之カ管理ヲ爲スニ在リ然ルニ火藥ハ危險ノ最モ甚シキ者ナレハ其製造場ノ構造及ヒ製造諸器械ヨリ貯藏運搬等ノ方法ニ至ルマテ悉ク嚴格ナル規則ニ依準セシメサル可ラス製造人ニシテ苟ニ該規則ヲ遵守セントセハ巨額ノ費用ヲ要シ其營業上ニ得ル所ノ利潤ハ以テ其失フ所ヲ償フ能ハス遂ニ該規則ニ背戾シテ爆發ノ災害ヲ生シ不測ノ慘狀ニ陷ル者必スヤ其多キヲ見ルニ至ラン且從前各府縣下ニ於テ免許セシ火藥製造人ハ全國ヲ通シテ僅々三十一名ニ過キサリシモ近來坑業及ヒ道路開鑿等ノ爲メニ漸次需用者ノ數ヲ加ヘタルヲ以テ今ヤ各府縣ヨリ製造者

ノ人員ヲ增加セント請フ者少ナカラス若シ續々之ヲ許可スルトキハ其製造場及貯藏庫ハ竟ニ全國ニ布置シ隨テ其管理モ完全ヲ得サルニ至ラン故ニ今此主義ヲ一變シテ火藥ハ一切人民ノ私製ヲ禁シ先ツ上州岩鼻ニ於テ之カ一大製造場ヲ建設シ此ニ其製造ヲ爲サシメ之ヲ全國ノ官庫ニ貯藏シテ軍用ノ準備ニ充テ次ニ人民ノ需用ニ應シテ之ヲ賣下ントス蓋シ官府ニテ其製造ヲ爲スヤ前顯ノ危險ヲ防クノミナラス其用フル所ノ器械等皆善良ナルヲ以テ其製造品ハ精良ニシテ彈射ノ功力強大ナル可ク加之其目的トスル所利ヲ射ルヲ主トセサレハ其價モ亦從テ廉ナリ之ニ反シテ人民ニ其製造ヲ許セハ其資金ハ充分ナラス其目的ハ利ヲ射ルノ一點ニ外ナラサレハ器械或ハ完備スル能ハス品位從テ粗惡ニシテ工ヲ費スハ必ス多ク

其價モ亦貴キハ知ル可キナリ又火藥ハ專ラ官府ノ製造スル者トセハ良シヤ軍用ニ適セスシテ敗藥ニ屬ス可キ者アリトスルモ之ヲ坑業或ハ道路開鑿等ニ用フルトキハ充分其効力ヲ有スルニ依リ其價ヲ廉ニシ之カ拂下ヲ爲スヲ得ヘキナリ然レハ官ハ更造ノ勞ナク人民ハ廉價ノ品ヲ得ルノ益アリ且夫レ國家一朝事アレハ兵ヲ配リテ火藥製造場及其貯藏庫ヲ防衞スルハ最モ緊要ノコトナリ然ルニ人民私製ノ火藥製造場各地ニ散在セハ恐クハ其守衞モ亦完全ナラサラン之ニ反シテ官特リ之ヲ製造セハ已ニ賣下ノ量ニ程限アルヲ以テ容易ニ全國ニ現在セル火藥ノ品種ト總計トヲ知リ又平時ト雖モ其製造場設置ノ注意周到ナルヲ以テ配兵防禦等最モ其便ヲ得ヘシ是レ本案起草ノ因由ナリ猶質疑アラハ從テ之ヲ辨セン

○二十二番（玉乃世履）本案ノ可否ヲ陳ルニ先チ內閣委員ニ二箇ノ辨明ヲ請フモノ有リ其一ハ本案第二十六條ノ末項ニ「軍用ノ火藥類ヲ窃ニ外國人ヨリ買入タル者」ト有ル是レナリ想フニ軍用ノ火藥類ヲ賣下ケサルモ人民ノ窃ニ外國人ヨリ購求スルヲ罰スルノ明文ナクハ到底其管理ヲ爲ス能ハサルヲ以テ此一項ヲ揭ケタルナル可シ然ルニ此ニ內國人ヨリ外國人ニ販賣シタル者ノ罰ヲ示サヽルハ何ソヤ蓋シ人民ノ私製ヲ禁スルニ由リ之ヲ販賣スルノ憂ナシトセンカ第二十七條ノ末項ニ「軍用ニアラサル火藥類ヲ窃ニ製造シ又ハ窃ニ賣買シタル者」ト有リ既ニ軍用ニ非サル者ト雖モ此ノ如ク顧慮シテ反テ軍用ノ火藥類ニ就テハ其法嚴密ナラサルハ本官ノ解セサル所ナリ其二ハ第二十七條ノ第一項ニ「軍用ノ火藥類ヲ窃ニ販賣シタル者」ト有ルハ蓋シ窃ニ內國人ニ販賣シタル者ヲ云フナランか然リ而シテ此ニ之ヲ購求シタル者ヲ罰スルノ明文ナキハ何ソヤ第二十八條ノ末項ニ「本條例中ニ禁止シタル條欵ニシテ罰則中ニ其明文ナキ諸件ヲ犯シタル者」ト有ルヲ以テ之ニ宛テ其人ヲ罰センカ何ソ販賣者ト購求者ト斯ノ如キ差等アルノ理アランヤ是レ亦本官ノ解セサル所トス之ヲ要スルニ本官ノ疑點ハ第二十六條ハ軍用ノ火藥類ヲ外國人ヨリ購求シタル者ノ罰ノミヲ揭ケテ之ニ賣與シタル者ノ罰ヲ示サヽルト第二十七條ハ軍用ノ火藥類ヲ窃ニ內國人ニ販賣シタル者ノ罰ノミヲ揭ケテ之ヨリ購求シタル者ノ罰ヲ示サヽルトノ二箇ニ出サルナリ

○番外一番（渡正元）二十二番ノ質疑ニ答ヘン第二十六條ノ末項ニ「軍用ノ

火藥類ヲ竊ニ外國人ヨリ買入タル者」ト有リテ之ニ賣與シタル者ノ罰ヲ示サヽルノ理由ハ軍用ノ火藥類ヲ外國人ヨリ購買スルハ已ニ火藥ハ政府ノ專製ナルヲ以テ此ノ如キハ人民私ニ製スルト同一致ナルニ依リ私製ヲ禁スルノ主義ヨリ特ニ之ヲ掲ケタリ而シテ外國人ニ販賣シタル者ヲ罰スルハ第二十七條ノ第一項ニ「軍用ノ火藥類ヲ竊ニ販賣シタル者」ト有ルモノニ依ルナリ即チ該項ハ內外國人ヲ問ハス軍用ノ火藥類ヲ竊ニ販賣シタル者ヲ云フニ在リ蓋シ販賣ニ係リテハ第十二條ニ「開港開市場ニ於テ免許商ヨリ外國人ニ火藥裝彈雷管ヲ賣渡サントスル時ハ第十條ノ程限內ニアルモノハ警察署ノ認可ヲ受ケ其程限以上ハ使府縣廳ヘ願出テ」云々ノ手續スラ明示セルヲ以テ購求ノ如ク其罰ヲ嚴ニセサルモ可ナリ又第二十七條ノ

第一項ニ「軍用ノ火藥類ヲ竊ニ販賣シタル者」トノミ有リテ內國人ヨリ之ヲ購求シタル者ニ係ルノ罰ナキハ第十六條ニ「免許商ハ武官並ニ其他ノ者ヨリ所有ノ火藥裝彈雷管ヲ買受ケントスル時ハ其賣主ト連署シ使府縣廳ノ認可ヲ受クヘシ」ト有リテ乃チ內國人ヨリ購求ノ事ハ此ノ如ク嚴ニ明示セルヲ以テナリ

○十九番箕作麟祥　抑モ火藥類ハ開明ヲ以テ歐洲ニ誇稱スル所ノ佛國等ト雖モ人民ニ私製ヲ許サス是レ石油等ノ如キ人民一般ノ需用ニ關スル者ニ非スシテ且危險最モ甚シキ者ナレハ本邦ニ於テモ其人民ノ私製ヲ禁スルハ本官固ヨリ異議ナシ唯本案ノ字句上ニ就テハ聊カ疑團ナキ能ハス第一ハ第三條ニ「火藥裝彈雷管云々但使府縣管內ニ於テ御賣商ハ五人以內小賣商ハ拾人以內トス」ト有リ此僅々タル

免許商ニテハ職獵等ヲ爲ス者許多ナル地方ニ在テハ恐クハ不足ナラン然ルニ之ヲ五人十人以內ト限ルハ蓋シ故アルカ第五條ニ「使府縣廳ニ於テハ本人ノ身元ヲ調査シ確實ナリト認ムル者ハ免許鑑札ヲ與フヘシ」ト有ルモ斯ノ如キ局促タル制限ヲ要セサルニ似タリ次ニ第十一條ニ「滿壹貫目迄ハ警察署壹貫目以上ハ使府縣廳ノ認可ヲ受ケ云々」ト有リ其壹貫目內外ヲ以テ然カク分別シタルハ何ソヤ蓋シ壹貫目以下ハ既ニ警察署ニテ認可スルヲ得ル者トセハ其以上ト雖モ亦同署ニテ認可シテ妨ケ無キニ非スヤ然ルニ一ハ使府縣廳ノ認可ヲ受ル者トシ而シテ警察署ヘノ届出ヲ爲サシメサルハ想フニ該署ハ使府縣廳ニ屬スル者ナレハ人民ヨリ直接ニ届出ナキモ間接ニ知リ得ルモノト爲スニ依ルカ然レトモ其事務警察上ノ負擔ニ係

ル所ノ者ナレハ必ス其届出ヲ爲サシムルハ管理上宜キヲ得ルカ如シ其三ハ第十二條ニ「開港開市場ニ於テ免許商ヨリ外國人ニ火藥裝彈雷管ヲ賣渡サントスル時ハ云々」此ニ特ニ「開港開市場ニ於テ」ノ八字アリテ次條ニハ「獵銃射的銃拳銃等ノ內云々坑業其他開鑿等ニ用フル爆發火藥ヲ外國人ヨリ買入ントスル時ハ云々」トノミニシテ開港開市場云々ノ字面ナシ是レ蓋シ無用ナルニ似タレトモ前ニ之ヲ掲ケテ後ニ之ヲ載セサルハ故アリヤ否ヤ其四ハ第二十條第一項ニ「御陵墓云々拾五町以內ノ地」ト有リ其第二項ニハ「三府並ニ開港場云々八町以內ノ地」ト有リテ甲乙各一倍ノ差アリ御陵墓等ノ貴重ヲス可キハ固ヨリ論ヲ竢タサレハ八町以內ニテ危險ナリトセハ之ヲ十町以內ト爲スモ亦不可ナシト雖モ三府等人民輻湊ノ地ニシテ猶

且八町以內ノ制限ナルニ是レノミ特ニ十五町以內ト爲スハ何ソヤ其五ハ同條第三項ニ「人家並ニ道路云々八町以內ノ地」ト有リ蓋シ人家ト云ハ、寒鄕僻地ノ茅屋モ加州ノ金澤ニ於ケル尾州ノ名古屋ニ於ケルカ如キ熱市ノ人家ヲモ同一ニ含蓄スルカ蓋シ是等ノ熱市ハ第二項ニ所謂三府等ニ準シ列記シテ可ナルカ如シ其差如何ン其六ハ第二十七條ノ第一項ニ「軍用ノ火藥類ヲ窃ニ販賣シタル者」ト有リ所謂販賣トハ內外國人ニ係リテ云フ者ナルハ目下內閣委員ノ辨明ノ如クナラン而シテ此ニ軍用ニ非サル火藥類ノ貯藏運搬ノコトヲ特載シ却テ軍用ノ火藥類ヲ貯藏運搬シタル者ヲ處スルノ明文ナキハ何ソヤ是レ第二十八條ノ末項ニ依リテ最輕罰ニ處スルノ意カ以上ノ六問幸ニ之カ說明ヲ乞フ

○番外一番（渡正元） 第三條ニ「卸賣商ハ五人以內小賣商ハ拾人以內トス」ト有ルハ從來ノ慣習ニ府ニ五人縣ニ三人ノ定員ナリシモ近來坑業及ヒ道路開鑿用等ノ爲メ火藥ノ需用往々增加シタルヲ以テ地方廳ヨリ該免許商ノ增員ヲ政府ニ請求スル者鮮少ナラス既ニ警視廳ヨリ卸賣商ヲ五人小賣商ヲ十人以內ト制定アランコトヲ內務省ニ稟請セリ乃チ是等ヲ斟酌シテ本案ノ如ク制定セリ元來該商業ハ酒肴若クハ野菜等ヲ商フ者ト殊ニシテ需用者多シト云フモ其人ニ限リアリ且危險ノ最モ甚シキ者ナレハ管理上ヨリ看ルモ需用者ニ對シテ支障ナキ限リハ極メテ其人員ノ多カラサルヲ欲ス是レ敢テ漫然ニ制限ヲ付シタルニ非ス第十一條ニ「滿壹貫目迄ハ警察署壹貫目以上ハ使府縣廳ノ認可云々」壹貫目內外ヲ以テ之ヲ分別シタルハ概シテ危

險ノ大小アルニ由ル蓋シ壹貫目以內ト雖モ肯テ危險ナラスト云フニ非サレトモ其量ノ多寡ニ由リ亦其差ナキニ非サレハナリ又其量額ニ從ヒ主務ノ官衙ヲ別チタルハ管理上ト需用者ノ便宜トヲ酌量シタルヨリ出タルモノトス原來壹貫目未滿ト雖モ管轄廳ノ認可ヲ受ケシムルヲ欲スルモ需用者ノ便宜ヲ計リ數步ヲ讓リテ警察署ノ認可ヲ受ルニ止ム然レトモ其以上ニ至リテハ使用ノ目的モ亦廣大ナル可キカ故ニ其管理モ從ッテ鄭重ナラサル可ラス是ヲ以テ壹貫目以上ハ管轄廳ノ認可ヲ受ル者トセリ且此時ニ於テ別ニ警察署ヘ屆出ヲ爲サシメサルモ第十五條ニ「免許商人ハ云々翌月十日迄ニ警察署ヘ屆出ヘシ」ト有レハ畢竟同署ニ於テモ其量ヲ知ルヲ得ヘケレハナリ第十二條ニ「開港開市場ニ於テ」ノ八字アルハ本邦ニ於テ外國人ノ公然居ヲ占ルノ地ハ此ニ出サルヲ以テ彼レニ火藥類ヲ販賣スルモ亦必ス同所ニ外ナラサルニ由テナリ而シテ第十三條ニ此八字ナキハ所謂特殊ノ銃器等ニ用フル爆發火藥ヲ外國人ヨリ買入ントスルニハ之ヲ外國ニ依賴スル等其手續キ一ナラスシテ到底其買入ノ地ハ前條ト同シカラサルニ由ル又第二十條中甲項ハ十五町以內乙項ハ八町以內ノ地ト有リテ著シク其等差ヲ看ル所以ヲ陳ンニ原來貯藏庫ハ人家ヨリ勉メテ遠隔ナル地方ニ設置スルヲ欲スレトモ三府等人民輻湊ノ地ニシテ其需用者モ亦少ナカラサル所ニ在テ大ニ所有主ノ住所ト隔離スルカ如キハ該商人ハ論ヲ俟タス其需用者モ均ク便ヲ缺クヲ以テ務メテ其法ヲ緩ウシ以テ此ノ如キ制限ヲ付セリ之ニ反シテ御陵墓等所在ノ地ニ於テハ假令之ヲ遠隔ノ地ニ置ク

モ需用者僅少ナレハ前者ノ如キ不便ヲ看サルナリ又同條中「人家並ニ道路云々」ト有ル人家ノ別ヲ問ハル然ルニ田舍等比隣家ナキノ一家屋ニ住スル者モ人民輻輳ノ地ニシテ大厦高樓ニ住スル者モ其性命ノ貴重ス可キハ均ク一ナルヲ以テ其則ヲ土地ニ依テ立テ敢テ人家ノ別ヲ爲サヽルナリ第二十七條第一項ニ「軍用ノ火藥類ヲ窃ニ販賣シタル者」トノミヲ掲ケ其貯藏運搬ノ事ヲ示サヽルハ既ニ人民ノ私製ヲ禁シ又外國人ヨリ之ヲ購求スルヲ許ササル上ハ理ニ於テ之ヲ貯藏シ若クハ運搬スル者ナキニ由ル十九番ノ質疑ニ對スル說明ハ以上六點ニテ盡セリト思考スレトモ猶ホ遺漏アラハ更ニ質疑ヲ俟テ再ヒ之レヲ辨セン

○三十三番（渡邊昇）本官モ亦質疑アリ第五條ニ「本人ノ身元ヲ調査シ確

實ナリト認ムル者云々」ト有ル身元トハ從來概シテ財產ノ多寡ヲ稱謂セシモ是レ至テ漠然タル者ニシテ今日富優ニシテ明日忽チ貧困ニ陷ヰル者往々之アリ本案ニ所謂身元トハ其財產ノ多寡ヲ云フカ將タ火藥ハ危險ナルモノナレハ人物ノ良否ヲ撰フニ在ルカ又第十二條ニ係リ目下內閣委員ノ辨明ニ由リテ本官ハ一疑團ヲ發セリ蓋シ委員ハ特殊ノ爆發火藥類ヲ外國人ヨリ買入ルヽカ如キハ必ラスシモ開港開市場ニ限ラスシテ外國若クハ船中等ニ於テ爲ス者アルカ爲メナリト云フモ其販賣ノ約定ノ如キモ決シテ開港開市場外ニ於テ爲ス者ナキヲ保シ難シ然ルニ十二條ニ限リ開港云々ノ字面アルハ如何ソヤ且又第二十條ニ「人家並ニ道路云々」ト有リ此制限ハ專ラ人民私立ノ火藥貯藏庫ニ係ルカ將タ官立ノモノト雖モ齊シク

之ニ準依スルカ又附則ニ「從前免許ヲ得タル火藥裝彈雷管製造人ハ云々相當ノ代價ヲ以テ之ヲ買上クヘシ」トアルハ官府ハ果シテ人民私製ノ火藥類ハ若干ナリト豫定セルヲ以テ然ルヤ若シ然ラサレハ此布令ニ基キ免許商ハ之ヲ奇貨トシ自今某年某月ニ至ル迄滂然巨額ノ火藥類ヲ製造シ以テ其買上ヲ申請スルノ恐レアリ且ヤ此ニ相當ノ代價ト有ルモ官民互ニ其所見ヲ殊ニスル有ラハ之ヲ何如ン

○番外一番 渡正元 三十三番ノ質疑ニ答ヘン其一身元トハ財産若クハ人物ノ一ノミヲ指稱スルニ非ス乃チ其二者ノ併セテ宜キ者ヲ取ルノ意ナリ其二開港開市場外ノ地ニテ販賣ノ約ヲ結フコト有ラハ如何トノ質疑ナレトモ已ニ開港開市場ニ於テト明記シタル以上ハ其他ノ地ニ於テ賣渡スカ如キ約定ヲ爲スハ是レ違法者ナルヲ以テ該約

定ハ其効力ヲ有セサル者トス其三「人家並ニ道路云々」ノ制限ハ人民私有ノ火藥庫ニ止マリ官府ニ屬スル者ハ九年第百二十號布告火藥庫圍線規則ニ依ルノ意ナリ其四本案ノ附則ニ「相當ノ代價ヲ以テ之ヲ買上クヘシ」ト有レハ該商等官府ノ買上ヲ奇貨トシテ妄リニ巨額ノ火藥ヲ製造スルノ恐レ有リト云ヘルモ原來本案實施ノ日ニ至レハ從來ノ製造免許商ハ其營業ヲ失フ可キニ依リ該附則ハ是等ノ者ヲシテ豫テ其用意ヲ爲サシムルカ爲メノ要旨ニ出タル者ニシテ例ヒ巨額ノ火藥類ヲ製造スル者アルモ果シテ火藥類タル可キ効力ヲ有スルニ於テハ官府ハ所謂相當代價ヲ以テ之ヲ買上ルニ於テ毫モ妨ケ無キナリ又其代價ヲ定ムルニ方リ官民一致セサル時ノ如キハ理事者ニ於テ必ラス適當ノ處分アル可シ而シテ本員ハ今之ヲ說

明スルノ責ニ任セサルナリ

○二番（補田英世）本案ヲ可トス抑本案ハ一昨十二年本院ニ於テ本官輩ノ熱心ニ主張セシ主義ト同一轍ニシテ夫ノ佛國等ト同ク火藥ノ私製ヲ禁スルコト其他貯藏庫ノ構造及ヒ赤旗ヲ用フルコトノ如キ皆今日ニ在テ内閣ノ採用スル所トナリタレハ其大體ニ於テハ大ニ可トス但罰則中少シク不妥ナルモノ無キニ非サレトモ敢テ大意ヲ害スルニ非サレハ本官ハ異議ヲ容レス迅ク本案ニ可決上奏アランヲ望ム

○十二番（玉乃世履）目下本官カ二條ノ質疑ニ係ル内閣委員ノ答辨ハ詳ニ之ヲ領セリ而シテ之ニ應スル本官ノ意見ハ第二讀會ヲ竢テ提出スヘケレトモ目下ノ答辨ニ由リ今再ヒ他ニ一疑ヲ生シタルヲ以テ此

ニ之ヲ質サン乃チ第二十七條第一項ニ「軍用ノ火藥類ヲ窃ニ販賣云々」ト有ルモ此ニ某國人ト指名セサル上ハ本項ハ内外國人ニ通シテ用フ可シトノ説明是レナリ果シテ然ラハ第二十六條第二項ヲ軍用ノ火藥類ヲ窃ニ買入レタル者トシ「外國人ヨリ」ノ五字ヲ削除セハ第二十六七兩條ト相照應シテ賣買倶ニ具備スルカ如シ然ルニ第二十六條ニ限リ特ニ外國人ヨリノ字面アルハ何ソヤ

○番外一番（渡正元）十二番再應ノ質疑ニ答ヘン第二十六條第二項ナル軍用ノ火藥類購求ノ方ニハ外國人云々ノ字面アリテ第二十七條第一項ナル同火藥類販賣ノ方ニハ該字面ナキ所以ハ過刻モ説明セシカ如ク軍用ノ火藥類ヲ外國人ヨリ購求スルハ之ヲ私ニ製造スルモノト同一般ナルヲ以テ特ニ之ヲ掲ケテ其罰ヲ嚴ニセリ而シテ軍用火藥

類ヲ外國人ニ販賣スルノ途ハ至テ稀有ノモノニシテ且敢テ內外國人ノ別ヲ爲スヲ要セス故ニ第二十七條ニハ外國人云々ノ字面ヲ掲ケサルナリ

○三十四番（槇村正直）　本官モ質問アリ第十條ノ末項ニ「遊獵其他官署ノ撿印ヲ受ケタル銃用」ト有ルノ定限ハ一人ニ對スルカ將タ一銃ニ對スルカ又同條ノ但書ニ「陸軍中準士官以上武官ニ限リ其省ノ認可證ヲ得テ此程限ヨリ三倍迄ノ數量ヲ買受クルヿヲ得」ト有リ蓋シ此程限ハ一回買得ノ者ナル可キモ地方ニ依リ鐵道等ノ便ヲ假リ例ヘハ大津ニ京都ニ大坂ニ神戸等各地方ニ於テ制限內最高額ノ數量ヲ購求セハ忽チニシテ多額ヲ致ス可シ況ヤ警察署ヘノ届出ハ翌月十日迄ト有ルニ依リ右ノ如クシテ多量ノ火藥類ヲ集收スル者アルモ同署

ニ於テハ之ヲ知ルノ遲キヲ如何セン惟フニ此制限ハ不備ヲ免レサルカ如シ又第十四條ニ「西洋形船舶設備ノ大砲小銃用彈藥云々」ノ下「大砲一門ニ彈藥五拾發小銃壹挺ニ同百發ヲ超ユヘカラス」トノ脚註アリ而シテ又本文但書ニ「雷管ハ四拾發ヲ超ユヘカラス」ト有リ抑此制限ハ一砲銃ニ對スルカ將タ一船舶ニ對スルカ併テ問フ第二十二條ニ「五貫目以上ノ火藥類云々」ト有リテ以下三箇條ノ手續ニ貫目ノ定則ヲ示サヽルモ同章中ノ者ナレハ皆悉ク五貫目以上ノ火藥ニ係ルカ果シテ然ラハ其未滿ノ火藥ヲ運搬スルハ赤旗ヲ用フル等ノ限ニ在ラサルヤ

○番外一番（渡正元）　第十條ニ所謂火藥類ノ定限ハ一人ニ對スルモノヲ云フナリ又陸海軍准士官以上ノ武官ニテ甲乙丙丁ナル各地ニ於テ火

藥類ヲ購求セハ忽チニシテ許多ノ額ヲ集收スルヲ得而シテ翌月十日迄ノ屆出ト有レハ警察署モ恐ラクハ之ヲ知ルノ遲クシテ遂ニ制限ノ効ナシト論スルモ原來一地方ニテ數多ノ認可證ヲ得ルコト能ハサルニ因リ敢テ顧慮ヲ要セサルナリ又設シ之ヲ得タル者アランカ之ヲ得ヘキ特別ノ人ナレハ何程ノ巨額ナルモ免許商ハ本規則ニ依リ認可證ヲ撿シテ之ニ販賣スルハ毫モ妨ケナキナリ第十四條ノ「西洋形船舶設備ノ大砲小銃用彈藥ハ第九條ノ手續ニ準シ其數量ハ明治八年第九十八號布告云々」ト有ルノ程限ハ砲銃ニ對スルニ非ス一船隻ニ對スル者ナリ又第二十二條ヨリ以下三箇條ノ火藥運搬ハ總テ五貫目以上ノ者ニ係リ其未滿ハ本規則ノ限ニ在ラサルナリ

○三十六番（神田孝平）　本官モ質疑アリ第二十條ノ末項「人家並ニ道路云々」ト有ル質問ニ對シ內閣委員ハ尾州名古屋加州金澤ノ如キ熱市ニ於ケル人家モ寒鄕僻地比隣ナキ孤屋モ皆此中ニ含蓄スト云フト雖モ其議官モ既ニ論セシ如ク熱市ノ地方ハ別ニ所謂三府並ニ開港場ト同一ニ列記シテ可ナルカ如シ然ルニ斯ノ如ク分別シタルハ何ソヤ

○番外一番（渡正元）　是レ他ナシ唯三府並ニ開港場ト其他トヲ區別シタルニ止マルノミ

○三十六番（細川潤次郎）　本案全體ノ可否ヲ議スルニ方リ或ハ全ク本案ト背馳シタル說アラント憂慮セシニ毫モ其景況ナキハ本官ノ大ニ滿足スル所ナリ抑火藥取締ノ議案ハ目下二番議官ノ陳述アリシ如ク一昨十二年四月本院ノ議定ニ付セラレシカ其主義タル人民ニ火藥

類ノ私製ヲ許スニ在リシヲ以テ當時同列議官中切ニ其不可ヲ辨晰スル者アリ本官等亦之ニ左袒シ遂ニ全部付托委員ヲ選定スルニ至リテ恰モ本案ニ均シキ修正報告案ヲ得タリシ唯惜ム可シ本官不參ノ日ニ開カレタル第二讀會ニ於テ同意者九人反對者十三人ノ爲メ該案ハ消滅シテ内閣下付ノ原案ニ可決セリ然ルニ這回内閣ハ全ク舊法ノ趣意ヲ一變シ恰モ前日本官輩ノ主張セシ主義ト符節ヲ合スルカ如キ本案ヲ以テ下付スルニ至レリ爰ニ議場ノ景況ヲ察スルニ續々質疑者アルハ概シテ他日修正説提出ノ爲メナル可ケレハ次會ニ於テハ廢棄説ノ議場ニ突出セサル可シト推測スルモ仍ホ豫防ノ爲メ往年嘗テ本院ノ議場ニ登リタル説ヲ擧テ此ニ本案ノ至當ナル所以ヲ辨セン夫レ火藥ノ製造ヲ政府ノ特權ニ歸スルハ六箇ノ便益有リトス今其大要ヲ擧ンニ第一火藥類ノ數量ヲ知ルノ便益ナリ凡ソ人民ニ火藥類ノ私製ヲ許セハ其大小製造所ハ往々各地方ニ散布シテ其製造ノ數量ヲ知ルニ難ク之ニ反シテ政府特リ之ヲ製造シ之ヲ賣下ルニ於テハ容易ニ全國ニ現在セル火藥ノ品種幷ニ其總計ヲ知ルヲ得ヘシ第二危險ヲ防クノ便益ナリ今夫レ製造所ノ構造器械ノ設備貯藏運搬等ノ方法ニ嚴密ナル規則アルハ則チ之レカ便益ヲ爲ス所以ナリ蓋シ人民ノ私製ヲ許スモ悉皆此規則ニ依ラシメハ可ナルカ如キモ私製者等ノ目的ハ唯利ヲ是レ射ルニ有ルヲ以テ其嚴密ノ規則ニ準フトキハ費用過大ニシテ得失相償ハス故ニ本則ニ違背シ粗惡ノ器械等ヲ使用スルニ至リ啻ニ精良ノ品種ヲ製スルヲ得サルノミナラス爆發豫防ノ方法モ亦其注意ヲ缺キ往々不測ノ禍害ヲ

來スヲ免レサルナリ第三內亂ヲ未發ニ防遏スルノ便益ナリ夫レ人民需用ノ火藥ヲ官府ヨリ賣下ル時ハ人民ハ一時ニ多量ヲ購買若クハ貯藏スルヲ得ス又匪徒ノ不逞ヲ圖ル者アルモ多量ノ火藥ヲ聚收スルヲ拒クヲ得ヘシ第四戰時護衞ヲ爲スノ便益ナリ國家若シ事アレハ兵ヲ配シテ火藥製造所及ヒ貯藏所ヲ防衞セサルヲ得ス然ルニ人民ノ私製ヲ許ス時ハ火藥各所ニ散在シテ防衞踈漏ニ涉ルヲ免レ難シ之ニ反シテ官特リ之ヲ製造貯藏スル者トセハ平時ニ於テ便宜ヲ圖リ其製造所等ヲ設置スルヲ以テ一朝事アレハ甲ノ火藥製造所ヘハ乙營ノ兵隊丙ノ火藥貯藏所ニハ丁分營ノ兵隊ヲ派遣シテ防衞セシムル等防衞配兵ノ便ヲ得ヘキナリ第五品位ノ精良ヲ得ルノ便益ナリ蓋シ政府ニ於テ全備ノ器械ヲ設ケテ火藥ヲ製造スル時ハ質

分精良ニシテ彈射ノ功力強大ナリ且其目的トスル所固ヨリ利ニ非サレハ其價從テ廉ナルヤ必セリ然ルニ人民其私益ノ爲メニ製造スル者ハ器械或ハ完備ナル能ハス品位亦自ラ粗惡ニシテ事ニ臨ミ官製ト其效用ヲ同ウスル能ハサルノミナラス工ヲ費スコト多クシテ其價亦從テ貴キヲ免レサルナリ第六火藥ヲ陳腐ナラシメサルノ便益ナリ原來火藥ハ久シキヲ經ハ硝石木炭硫黃等ノ分子飛散シテ其效力減少ス而シテ之ヲ再製スルハ其費用新タニ製スルヨリモ大ナリ此ノ如キモノハ以テ軍用ニ供スルヲ得ヘカラサルモ坑業及ヒ道路開鑿用等ニ用フルコトヲ得ヘシ故ニ政府ハ其價ヲ廉ニシテ之ヲ賣下ル時ハ官ニ在テハ更造ノ勞ナク人民ニ在テハ廉價ノ品ヲ得ルノ益アリ六箇ノ便宜ハ以上陳述スルカ如シ其レ此ノ如キ便益アル

モ猶ホ人民ノ私製ヲ禁スルハ自由營業ノ權利ヲ毀損スルヲ以テ之ヲ政府ノ特權ニ歸ス可ラスト論スル者アランカ其レ或ハ然ラン然レ𪜈事ニ緩急輕重ノ別アリ佛國ノ煙草及ヒ支那ノ食鹽等政府ニ於テ專賣ノ權ヲ有スルノ例鮮少ナラス況ヤ火藥類ヲ官製スルカ如キハ全ク危險ヲ豫防シ且國安ヲ維持スルカ爲メニシテ其利害ノ明々白々タルヲヤ是レ本案ノ可ナル所以ナリ

○議長　發議盡タリト認ムルヲ以テ此ニ第一讀會ヲ畢リ來ル五日第二讀會ヲ開クヘシ散會セヨ

午後零時二十分閉場

元老院會議筆記明治十四年七月五日

○第二百五十一號議案火藥條例第二讀會

議長代理　細川潤次郎

出席議官

一番	津田　眞道
四番	野村　素介
五番	岩村　通俊
九番	伊丹　重賢
十番	河田　景與
十二番	東久世通禧
十四番	安場　保和

十六番　鍋島幹
十七番　鶴田皓
十八番　津田出
十九番　箕作麟祥
廿一番　河瀨眞孝
廿二番　玉乃世履
廿三番　中村弘毅
廿四番　林友幸
廿五番　大久保一翁
廿六番　神田孝平
廿九番　楠本正隆

三十一番　伊集院兼寛
三十二番　四條隆謌
三十三番　渡邊昇
三十四番　槇村正直

内閣委員番外一番太政官大書記官渡正元

午前第十時五分開場

○議長　本日ハ正副議長共ニ不參ニヨリ本官代理ヲ爲シ第二百五十一號議案第二讀會ヲ開ク

書記官森山茂朗讀

布告案

火藥條例別冊ノ通相定メ來ル十五年　月　日ヨリ施行候條此旨布

告候事

但此條例ニ矛盾スル從前ノ成規ハ總テ廢止トス

○三十三番渡邊昇 本按ニ對シテ一ノ建議アリ其故ハ第一讀會ニ方リ本官ノ疑義ヲ内閣委員ニ質シ其答辨ヲ聞キ反テ疑團ヲ堅ウシ修正ノ異見稍々多キヲ致セシヲ以テナリ今其一二ヲ擧ンニ即チ第二十條ノ末項ナル「人家幷ニ道路里道以上及ヒ鐵道ヨリ八町以内ノ地」ト有ル事項ニ付テ本官ハ陸海軍ノ火藥庫ハ之ヲ爲ス如何ント問ヒシニ内閣委員ハ政府所轄ノ火藥庫ハ特別ノ制アリテ本條例ノ問フ所ニ非スト答ヘリ本官思フニ政府令スル所ノ法律ニシテ人民ハ之ヲ遵奉ス可シ政府ハ與カラスト云フカ如キ理アル可ラスト又八町以内ニ之ヲ禁スルハ其危險ヲ顧慮スル取締ノ點ヨリ之ヲ論スレハ素

ヨリ不可ナキモ「里道以上」ト云フカ如キハ其實際上或ハ之カ爲ニ里道ヲ破壞スル如キ有ンコトヲ恐ル此他尚ホ異議ナキ能ハス之ヲ要スルニ本案ハ議席ニ於テ一修正ノ能ク盡ス可キニ非サレハ全部附托修正委員ヲ撰定シテ充分ニ論窮センコトヲ欲スルナリ

○廿二番玉乃世履 三十三番ノ建議ヲ賛成ス蓋シ其論點ハ違フモ其歸着スル所ハ同シケレハナリ乃チ本官ハ前會ニ於テ罰則章中ナル第二十六條及廿七條ニ付テ内外人ノ關係及販賣ノ事ヲ質問セシニ答詞或ハ明ヲ鈌ケリ故ニ本官ハ右兩條ト或ハ第廿八條ヲモ連帶シテ修正說ヲ提出セント欲セシモ此ノ如クンハ議場ノ紛亂ヲ來タスアランヲ恐ルヽニヨリ議事ノ整頓ヲ慮リ三十三番ノ說ヲ可トス

○議長 三十三番ノ建議ヲ可トスル者ハ起立セヨ

起立者廿一人

○議長　多數ナルヲ以テ三十三番ノ建議ニ決シ即チ九番伊丹重賢二十二番玉乃世履三十三番渡邊昇ヲ以テ委員トナス後會ハ其報告ヲ待テ開カン

散會ス可シ

午前第十時十五分閉場

元老院會議筆記明治十六年二月二十六日

○第二百五十一號議案火藥條例第二讀會明治十四年七月五日ノ續

議長代理東久世通禧

出席議官

二番　鍋島直大
九番　西周
十番　箕作麟祥
十二番　河瀨眞孝
十三番　伊集院兼寛
十八番　渡邊清
十九番　大久保一翁

二十番　槇村正直
廿一番　神田孝平
廿三番　柴原和
廿四番　三浦安
廿六番　鍋島直彬
廿九番　鍋島幹
卅一番　大鳥圭介
卅二番　福原實
卅三番　伊丹重賢
卅四番　渡邊洪基
卅五番　本田親雄

卅六番　津田眞道
卅八番　野村素介
卅九番　西村貞陽

内閣委員　番外一番　參事院議官補高田善一

午前第十時開場

○議長　本日ハ第二百五十一號議案ノ第二讀會ノ續會ヲ開カン抑モ本案ハ十四年六月ノ下付ニ係リ同年七月第二讀會ニ方リ全部付託修正委員ニ付託スルニ決シ爾後配付セシ兩回ノ修正報告案ヲ收消シ此ニ第三回ノ報告案成レルヲ以テ更ニ之ヲ各位ニ配付セリ今其報告案ト下付原案トノ兩案アリ孰レヲ以テ議案ト爲ス可キヤノ決ヲ取ン修正報告案ヲ以テ議案ト爲スニ同意者ハ起立セヨ

起立者二十八人

○議長　多數ナルヲ以テ修正委員ノ報告案ヲ以テ本案ト爲スニ決ス

書記官（森山茂）朗讀

布告案

火藥取締規則別册之通制定シ本年　月　日ヨリ施行ス

但從前ノ成規中軍用ノ外此規則ニ矛盾スルモノハ總テ廢止トス

右奉　勅旨布告候事

左案ハ理由ノ説明ニ關スル有ルヲ以テ此ニ附記ス

火藥取締規則

第一章　總則

第一條　凡ソ火藥類（火藥裝彈劇發火藥等諸種ノ類ヲ含有ス以下之ニ倣ヘ）ハ陸軍海軍兩省ノ外

之ヲ製造スルコトヲ禁ス但自用ノ裝彈ハ此限ニアラス

第二條　人民需用ノ火藥類ハ左ノ需用ニ限リ其賣買營業ヲ許ス

坑業土工烟火室内射的其他職業用

西洋形船舶設備ノ大礮小銃免許獵銃其他官署ノ撿印ヲ受ケタル銃用

第三條　火藥類賣買營業ノ爲メ御賣商小賣商ヲ免許スヘシ但府縣一管内ニ於テ御賣商ハ十八人以内小賣商ハ十五人以内トス

第四條　御賣商小賣商タラント欲スル者ハ住所族籍氏名ヲ詳記シ其地ノ警察署ヲ經由シ府縣廳（東京ハ警視廳以下之ニ倣ヘ）ニ願出テ免許鑑札ヲ受クヘシ

第五條　府縣廳ニ於テ御賣商小賣商ヲ免許シタル時ハ其住所族籍

氏名ヲ詳記シ火薬庫設置ヲ許可シタル時ハ其地名番號ヲ具シ内務陸軍海軍ノ三省ニ申報スヘシ

第六條 府縣廳ニ於テハ免許商ヨリ届出タル賣買貯藏ノ種類數量ヲ統計表ニ製シ毎年一月七月内務陸軍海軍ノ三省ニ申報スヘシ

第七條 戰時若クハ事變ニ際シ陸軍卿海軍卿ハ火薬類ノ賣下ケヲ停止シ内務卿ハ其賣買運搬ヲ停止スルコトアルヘシ

第二章 賣買

第八條 御賣商ハ鎭臺(東京大阪ハ砲兵方面)營所函館砲臺東京海軍火薬製造所ヨリ火薬類ヲ買受ケ之ヲ小賣商ニ賣渡シ又自ヲ小賣ヲ爲スコトヲ得

第九條 免許商ハ火薬類ヲ買受ケタル毎ニ其種類數量ト在來貯藏

ノ種類數量トヲ詳記シ其地ノ警察署ニ届出ヘシ但軍人幷ニ其他ノ者ヨリ買受クル時ハ賣主ノ賣渡證書ヲ添ヘ届出ツヘシ

第十條 免許商ハ買受人示ス所ノ免狀ヲ撿シ許可證ハ之ヲ受取リ後ノ條々ニ掲クル種類數量程限ニ照シテ賣渡シ買受人ノ住所族籍氏名及ヒ種類數量年月日ヲ詳記シ其受取タル許可證ヲ添ヘ翌月十日迄ニ其地ノ警察署ニ届出ヘシ

第十一條 職獵及ヒ室内射的烟火製造ノ營業免許ヲ得タル者ハ其免狀ヲ免許商ニ示シ需用ノ火薬類ヲ買受クルコトヲ得其一回ニ買受ル數量ハ各種左ノ程限ヲ超ルコトヲ許サス

職獵銃用

火薬 壹貫目
裝彈 千發

室内銃用　裝彈　千發

烟火製造用　火藥　五貫目

第十二條　遊獵及ヒ射的ノ爲メ火藥類ヲ買ハント欲スル時遊獵人ハ免狀ヲ免許商ニ示シ射的人ハ其地警察署ノ許可證ヲ受ケ之ヲ免許商ニ渡シ買受クルヿヲ得其一回ニ買受ル數量ハ各種左ノ程限ヲ超ルヿヲ許サス

遊獵銃其他官署ノ撿印ヲ受ケタル銃用　火藥百五拾目／裝彈　百發

室内銃用　裝彈　五百發

第十三條　陸軍海軍々人ハ其省ノ許可ヲ得其證ヲ免許商ニ渡シ第十一條ニ掲ケタル職獵銃同一ノ數量ヲ買受ルヿヲ得

第十四條　坑業土工其他ノ使用ニ供スル火藥類ヲ買ハントスル者ハ其旨趣及ヒ種類數量ヲ詳記シ使用ノ地ニ於テ警察署ノ許可證ヲ受ケ之ヲ免許商ニ渡シ買受ルヿヲ得

第十五條　免許商火藥類ヲ外國人ニ賣渡シ又ハ免許商其他ノ者外國人ヨリ特殊ノ火藥類ヲ買受ントスル時ハ其旨趣及ヒ種類數量ヲ詳記シ本人住居ノ地若クハ使用ノ地ニ於テ警察署ノ認可ヲ受ケ開港開市場之レアル府縣廳ニ願出テ許可ヲ乞フヘシ但銃獵免狀ヲ所持スル外國人ニ火藥類ヲ賣渡サントスル時ハ第十二條ニ依ルヘシ

第十六條　西洋形船舶設備ノ大礮小銃用火藥類ハ第十一條ノ手續ニ準シ其數量ハ明治八年第九十八號布告ノ第二條ニ從フヘシ

第三章　貯藏

第十七條　凡火藥貯藏ノ數量ヲ算スルニ裝彈烟火ノ類ハ火藥ノ量ノミヲ算スヘシ各種ヲ同所ニ貯藏スルニハ各種火藥ノ數量ヲ合算ス

第十八條　火藥類ヲ貯藏セントスル者ハ後ノ條々ニ從ヒ其地ノ警察署ヲ經由シテ府縣廳ニ願出テ許可ヲ乞フヘシ其火藥ノ數量貳貫目未滿ノモノヲ倉庫又ハ火氣遠隔ノ所ニ貯藏スルハ此限ニアラス但劇發火藥ハ別段ノ許可ヲ乞フヘシ

第十九條　火藥庫ハ神宮皇居離宮ノ區域ヲ距ル十町以內ノ地ニ設置スヘカラス

第二十條　火藥庫ハ御陵墓官國幣社官舍人ノ住スル建造物宅地國

道縣道鐵道滊船ヲ通スル河渠及ヒ他ノ火藥庫外圍トノ中間ニ於テ貯藏ノ數量ニ從ヒ左ノ距離ヲ有チ設置スヘシ但宅地ト雖モ火藥庫ヲ設置セントスル者ノ所有ニシテ本條ノ距離ニ從フトキハ之ヲ設置スルヿヲ得

貳貫目以上拾貫目未滿	七　間
拾貫目以上貳百貫目未滿	二十八間
貳百貫目以上五百貫目未滿	五十間

第二十一條　火藥貯藏ノ數量ハ五百貫目ヲ超過スルヲ許サス

第二十二條　火藥庫ハ土造ニシテ嚴ニ爆發ヲ豫防スヘシ（内部ニ鐵釘等ヲ露ハサス石瓦ヲ用ヒサルノ類）其火藥拾貫目以上ヲ貯藏スルハ避雷針ヲ設ケ赤地ニ火藥ノ二字ヲ書シタル目標ヲ建テ周圍ニ高サ六尺以上ノ土堤

ヲ築キ堤外十四間以内ノ地ニ材木草秣其他燃質物ヲ蓄積スヘカラス

第二十三條　火藥庫ヲ設置シタル後ハ第二十條ニ定メタル距離内ニ人ノ住スル建造物ヲ建築スルヲ許サス

第二十四條　火藥庫ヲ設置スルニハ第二十條ノ距離ヲ要スト雖モ丘陵及ヒ瀛船ヲ通セサル河渠等アリ若クハ倉庫土堤ノ搆造殊ニ宜キヲ得地方廳ニ於テ危險ナシト認ムルモノハ内務卿ノ許可ヲ受ケ其距離ヲ短縮スルヿヲ得

第四章　運搬

第二十五條　五貫目以上ノ火藥ヲ運搬セントスル時ハ豫メ其數量發着場所日時及ヒ水陸通路ノ名稱ヲ記シ出發地ノ警察署ヨリ許

可證ヲ受ケ之ヲ携帶スヘシ日出前日沒後ハ運搬ヲ許サス但許可證ハ運搬濟ノ上到着地ノ警察署ヘ返納スヘシ

第二十六條　前條ノ火藥ヲ運搬スル時ハ之ヲ樽或ハ箱鐵釘ヲ用ヒサルモノニ入レ筵包若クハ繩卷ト爲シ毛布ノ類ヲ以テ其上ヲ覆ヒ赤地ニ火藥ノ二字ヲ書シタル小旗ヲ建テ護送人ヲ附スヘシ但船積ノ法ハ明治六年第二百九十二號布告ニ從フヘシ

第二十七條　火藥ヲ運搬スル途中ハ都テ火氣ヲ警メ休息宿泊ノ時ハ人家稀疎ニシテ危險ナシト認ムル場所ヲ擇フヘシ但宿泊ニハ徹夜看守人ヲ附スヘシ

第五章　罰則

第二十八條　非軍用ノ火藥類ヲ私ニ製造シ又ハ私ニ輸入シ又ハ私

ニ外國人ヨリ買取リタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ拾圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二十九條　第十條第十一條第十二條ニ掲ケタル程限ヲ超過シテ販賣シタル者若クハ非軍用ノ火藥類ヲ私ニ販賣シタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五拾圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三十條　前二條ノ罪ヲ犯スト雖モ職工又ハ雇人ニシテ止タ正犯ノ使令ニ供シタル者ハ各本刑ニ照シテ二等ヲ減ス

第三十一條　前三條ノ罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ刑法未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第三十二條　非軍用火藥類ノ製造ニ供シタル器械ニシテ單ニ其用

ニ供ス可キ者ハ何人ノ所有ヲ問ハス之ヲ沒收ス

第三十三條　第三章第四章ノ規則ヲ犯シタル者ハ軍用ト非軍用トヲ問ハス刑法第四百二十五條第一項第二項ニ照シテ處斷ス

第三十四條　第九條第十條ニ掲ケタル届出ヲ爲サヽル免許商ハ三日以上十日以下ノ拘留ニ處シ又壹圓以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

附則

從前免許ヲ得タル火藥類製造人ハ本年　月　日ヲ限リ其製造諸器械及ヒ火藥類ノ現貯藏數量ヲ詳記シ府縣廳ニ願出ルニ於テハ相當ノ代價ヲ以テ之ヲ買上クヘシ

○卅三番（伊丹重賢）　本官ハ修正委員ノ一人ナルヲ以テ聊カ修正ノ理由ヲ

述ンヽ抑モ本案ハ明治十四年六月ノ下付ニ係リ同年七月第二讀會ニ方リ全部付託修正委員ヲ設ケ之ヲ修正スルニ決セシモ時已ニ暑中休暇ニ際シ爾後修正ニ從事スルノ間內閣ノ組織變更シテ參事院ヲ置カレ本案修正委員ノ同院議官ニ轉任スル者アリ又ハ內閣委員ノ事故ニ由リ委員會ニ缺席スル等ノコト有リテ荏苒歲月ヲ閱シ漸ク十四年十二月ニ至リ修正報告案ヲ制シ之ヲ報告セシモ猶ホ其安ンセサル者アルヲ以テ更ニ十五年二月再修正案ヲ報告シ以テ各位ニ配付セラルヽニ至レリ然ルニ昨十五年ノ議事ノ多端ナルハ本院開設以來未タ曾テ其比ヲ見ス加フルニ急施ヲ要スルノ議案究メテ多ク夫レカ爲メ自然ニ本案ヲ議到スルノ時機ヲ得サリシ且其時月ノ移ルニ隨ヒ意向モ亦自カラ當時ノ如クナラサルヲ以テ既ニ再修正

案ヲ報告セシモ尙ホ取舍改竄ヲ要スル者アリテ數次內閣又ハ參事院等ニ禀議シ恰モ中止ノ姿トナリシモ亦敢テ修正委員ノ怠諸ニ委セシニ非スシテ事狀實ニ已ヲ得サリシナリ今ヤ本案ノ修正成ルヲ以テ之ヲ報告セシニ幸ヒ議場ノ採用スル所トナリ本會ノ議案トナルノ榮ヲ得タリ因テ細大修正ノ意ヲ說明セン。ニ本案中二條ヲ合シテ一條トナシ又ハ各條ヲ前後ニ轉置セシカ如キノ類ハ一一ニ之ヲ辨陳セス只其足ラサルハ逐條ノ決議ヲ待テ之ヲ述ントス夫レ下付原案ノ火藥條例ヲ今火藥取締規則ト修正セシハ敢テ深意アルニ非ス本案原ト軍用ニ關セス唯人民自用ノ火藥ノ取締ニ係ル規則ナルヲ以テ若シ單ニ火藥條例トセハ或ハ軍用非軍用共ニ此中ニ包含スルヤノ嫌ナキ能ハス故ニ取締ノ二字ヲ加ヘテ以テ其惑ヒナカラン

ト要スルノミ且布告案但書ニ従前ノ成規中軍用ノ外云云ノ文字ヲ加ヘシハ此規則ノ管理スル火藥ハ非軍用ノミニシテ其軍用ノ分ハ特別ナリトノ意ヲ知ラシメンカ爲ナリ第一條ノ末文ニ裝彈云云ノ文字ヲ掲ケシハ其自用品ヲ製造スルハ此規則ノ禁スル所ニ非サルヲ以テナリ第二條中西洋形船舶云云ノ一項ノ脚註ヲ削リシハ此脚註ハ專ラ銃礮ニ關シテ火藥ニ用ナシト爲スカ故ナリ又原案第三條但書ニ一府縣管內ニ於テ御賣商ハ五人以內小賣商ハ拾人以內ト有リシヲ本案ニ御賣商ハ十人以內小賣商ハ十五人以內トセシハ其一府縣內ト言フモ廣狹一ナラサルヲ以テ或ハ其足ラサル者アランヲ慮リテ增加セシニ過ス是レ唯修正委員ノ意見ニ出ルノミナラス曾テ其程度ヲ陸軍省ニ問議セシニ若シ其人數少ナキトキハ假令陸軍

海軍兩省ノ之ヲ公賣スルコト有ルニ至ルモ皆此少數者ノ爲メニ占領セラレ輙ク需用者ノ手ニ落サル可ク之ヲ增スニ如カストノ答及アリシカ故ニ彼此事態ヲ參酌シテ以テ此ノ如ク定メシナリ又第十條ハ原案ニ「第九條ノ免許ヲ得タル者ニ非スシテ遊獵射的等ノ爲メ火藥裝彈雷管ヲ買ハント欲スル時遊獵ハ其免狀ヲ免許商ニ示シ又射的等別ニ免狀ナキ者ハ警察署ノ認可ヲ受ケ其證ヲ免許商ニ示シ買受クルヿヲ得」ト有ルモ免狀ハ常ニ本人ノ所持ス可キ者ニシテ認可證ハ畢竟事ヲ辨スル一時ノ用タルニ過キス然レハ則チ其免狀ハ之ヲ示ストハ謂フ可キモ認可證ハ之ヲ示ストハ謂フ可ラス故ニ本條以下總テ免狀ハ之ヲ撿シト爲シ認可證ハ受ケ或ハ渡シト修正セリ是レ某議官ノ意見ニ出テ修正委員ノ採擇スル所ニ係ル者ナリ又本

案第十三條ハ即チ原案第十條ノ但書ヲ取テ更ニ一條ヲ立シ者トス蓋シ原案ノ如クンハ未タ其定數ヲ指畫セサル前ニ既ニ三倍マテヲ買受ルコトヲ得ト有リテ前後頗ル序ヲ失ス故ニ本條ヲ立テ其數量ヲ職獵銃ト同一ニセリ是ノ如クンハ其數量ハ却テ原案ニ增加セシヲ知ル可シ第二十條ハ即チ火藥庫建設ノ距離ヲ定ムルノ項ナリ原案五拾貫目以上ト有ルモ單ニ以上トノミナルトキハ其以上ノ定極ナシ故ニ本案ハ五貫目以上ノ貯藏ヲ許ササル旨ヲ掲ケ而シテ其量目ヲ計リテ之カ距離ヲ定メタリ但シ此事ヤ曾テ或議官ノ距離遠近ニ就テ論述セシカ如ク各位ニ於テモ或ハ同感ナル有ンカ試ミニ修正委員ノ熟議以テ斯ク決定セシ理由ヲ陳ンニ今之ヲ原案ニ比スレハ其距離稍接近セシヲ以テ或ハ危險ナランノ疑ヒ有ンモ知ル可

カラスト雖モ本案素ヨリ原案ニ反シ其貯藏ノ量目ニ於ルモ已ニ制限アルノミナラス倉庫ノ建築法ヲ定メ且周圍ニ土堤ヲ築カシムル等豫防ノ方法一モ備ハヲサル莫シ是レ其距離ヲ減縮シテ以テ實際ノ便利ヲ圖ラントスル所以ナリ若シ夫レ原案ノ如クンハ其遠キハ四方三十町以外ニ非サレハ之ヲ貯藏スルコトヲ得サルニ至リ其不便謂フ可ラサラン又原案第七條ニ賣買貯藏ノ數量ハ府縣廳ニ於テ總計表ヲ製シ半年每ニ內務陸軍海軍ノ三省ヘ申報ス可シト有リシモ事些細ニ涉リテ其要ヲ見ス故ニ本案ハ之ヲ府縣ニ委任シテ便宜事ニ處セシムルコトト爲セリ以上陳ル所ハ即チ本案修正ノ撮畧ナリ其詳細ニ至テハ逐條ノ議ニ就テ之ヲ述ルコトアル可シ

○廿三番（柴原和）本案修正ノ理由ヲ聽キ稍之ヲ領解セリ抑モ本案ハ十

四年六月ノ下付ニ係リ十四年十二月及ヒ十五年二月兩回ノ修正ヲ經而シテ今回更ニ此修正案ノ報告アルニ會フ但シ本官ノ目擊スル所ヲ以テスルモ本案修正委員ハ二三ノ年所ヲ經ルノ間常ニ心ヲ修正ニ委シ孜々事ニ從ヒ議論周到此案ヲ成スニ至リタル者ナルヲ以テ既ニ其善美ナルヤ知ル可シ中ニ就テ其優ナル者ヲ舉レハ原案第五條ヲ削除シ而シテ罰則ニ於テ刑法第百五十七條第百五十八條第百五十九條ノ例ニ照シ未遂犯ヲ以テ論セントスルカ如キ是レナリ其用意ノ精確ナル本官ノ甚タ抃悅スル所ナリ然リ而シテ凡ソ事ノ詳密ニ過ルトキハ隨テ取舍ニ困シミ疑擬ニ涉ル者少ナカラサルニ至ルハ常情ナリトス本案修正ノ如キモ亦或ハ然ランカ今本官ノ本案ニ對シ疑問セントスル者幾ント十五六點ノ多キアリ然ルモ一時

ニ之カ問ヒヲ發スルトキハ或ハ煩擾ニ涉ルノ恐レ有ルヲ以テ便宜數項ニ分チテ之ヲ質サントス第一本案第一條但書ニ「自用ノ裝彈ハ此限ニアラス」ト揭クル是レナリ本官敢テ之ヲ不是ト爲スニ非サルモ試ニ原案ヲ以テ之ヲ推スニ此但書中ニハ大礮ニ用ユル裝彈モ亦含有スル者ノ如シ然ルニ原案第九條第十條ハ即チ本案第十一條第十二條ニシテ第十一條ハ「職獵及ヒ室內射的烟火製造ノ營業免許ヲ得タル者ハ其免狀ヲ免許商ニ示シ需用ノ火藥類ヲ買受クルヿヲ得其一回ニ買受ル數量ハ各種左ノ程限ヲ超ルヿヲ許サス」トシ第十二條ハ「遊獵及ヒ射的ノ爲メ火藥類ヲ買ハント欲スル時遊獵人ハ免狀ヲ免許商ニ示シ射的人ハ其地警察署ノ許可證ヲ受ケ之ヲ免許商ニ渡シ買受クルコトヲ得其一回ニ買受ル數量ハ各種左ノ程限ヲ超ル

ヿヲ許サス」ト載セテ以テ共ニ其程限ヲ明示セリ既ニ此二條ヲ以テ其程限ヲ明示スルニモ拘ラス第一條但書ノ如ク自用ノ裝彈ハ此限ニアラストナストキハ假令何萬發ノ裝彈ヲ製造スルモ妨ケ無キカ如ク殆ント第一條ト第十一條第十二條ト相矛盾スルノ感ヲ生ス蓋シ本官ノ所見ニ因レハ既ニ第一條但書ニ程限ヲ立サルトキハ第十一條第十二條ノ買受方ノ數量モ亦程限ナクシテ可ナラントス苟モ第十一條第十二條ノ程限ヲ以テ必用トセハ寧ロ第一條但書ニモ其程限ヲ付スルヲ要ス其程限ヲ付セサルハ如何ン第二ハ本案第四條「御賣商小賣商タラント欲スル者ハ住所族籍氏名ヲ詳記シ其地ノ警察署ヲ經由シ府縣廳（東京ハ警視廳以下之ニ倣ヘ）ニ願出テ免許鑑札ヲ受クヘシ」ト有ルモ原案ニハ其地ノ警察署ヲ經由シ云云ノ文字ナシ然ルニ本案

特ニ此文字ヲ挿入セシハ抑モ何ノ理由アリテ然ルヤ元來火藥ヲ運搬セントスルニ際シテ之ヲ警察署ニ屆出ルカ如キハ或ハ要用ナル可キモ其免許鑑札ヲ受ルノ事モ同シク警察署ヲ經由スルカ如キハ未タ其必用ヲ見ス但シ免許鑑札等ノ取扱ヲ爲スハ各地方共ニ多クハ郡區長ニ委任シテ便宜ニ處辨セシムル者ナリ然ルニ之ヲ郡區廳トナサスシテ特ニ警察署トセシハ何ノ故ヲ以テ然ルヤ且免許鑑札料ハ若干ナルヤ本案之ヲ掲ケサルモ他ノ法律條例ニハ通シテ掲示スルヲ例トシ而シテ之ヲ省キシハ如何ン第三本案第五條ハ原案第六條ノ意ヲ移シタル者ナリ原案ヲ稽查スルニ「使府縣廳ニ於テ御賣若クハ小賣商ヲ免許シタル時ハ住所族籍氏名ヲ具シ其時時内務陸軍海軍ノ三省ヘ申報スヘシ」ト有ルモ本案ニハ特ニ「其時時」ノ三字

ヲ除キタリ惟フニ其申報ノ如キハ地方官ニ委シ三月乃至五個月毎ニ之ヲ取纒メテ申報スルモ肯テ妨ケ無シトスルノ意ナランカ然ルニ其次條ニ「毎年一月七月内務陸軍海軍ノ三省ニ申報スヘシ」ト掲ケ又第十條ニハ「翌月十日迄ニ其地ノ警察署ニ届出ヘシ」トシテ緩急自カラ程限アルカ如キヲ以テ看レハ本案第五條ハ將タ何ノ權衡ニ依準セシヤ抑モ放任ノ主義ニ出ルカ先ツ以上三點ノ説明ヲ乞フ

○卅三番（伊丹重賢）　廿三番ノ質疑中先ツ其第一問ニ答ヘン本案第一條但書ニ「自用ノ装彈ハ此限ニアラス」ト有ルトキハ第十一條第十二條ノ程限ニ矛盾スル無カランヤト言フモ是レ敢テ然ラス何トナレハ第一條但書ハ自用ノ装彈ヲ製造スルニ係リ第十一條第十二條ハ火藥装彈ヲ買受ルノ數量ヲ定限セシ者ニシテ彼此其用ヲ異ニスレハ

ナリ今單ニ第一條但書ニ依レハ自用ノ装彈ハ幾萬許ヲ製造スルモ妨ケナキカ如キモ既ニ第十一條第十二條ヲ以テ火藥装彈ヲ買入ルルノ數量ヲ制定スルトキハ設令濫造セント欲スルモ其能ハサルヲ奈何セン蓋シ聞ク所ニ據レハ軍銃ノ装彈ハ凡ソ一發一匁三分以上七分以下ナリト今假リニ平均一匁トナスモ千發ノ火藥ハ即チ其量一貫目ニ過キス而シテ其獵銃ノ如キハ大抵之カ半數ニシテ足レリト云フモ猶ホ之ヲ軍銃同一ニ假定シ以テ其量目ニ相當セル装彈千發ヲ買受ルヲ得ル者トナセリ故ニ自製装彈ハ或ハ無制限ノ如クナルモ既ニ火藥買受ノ程限ヲ以テ自カラ撿束スル所アルカ爲メニ遂ニ多量ニ製出スル能ハサル者トス第二問ハ本案第四條ニ其地ノ警察署ヲ經由シ云云ノ文字ヲ加ヘシ如何ニ在リ夫レ原案第五條ニ「使

府廳ニ於テハ本人ノ身元ヲ調査シ確實ナリト認ムル者ハ免許鑑札ヲ與フヘシ」ト有ルモ而モ其確實ナリヤ否ヤヲ認ムルハ抑モ本人ノ性質ヲ指スカ將タ其身代ニ在ルカ其調査上甚タ識別シ難キ者アルノミナラス或ル地方ニ依リテハ五十里乃至六七十里ノ隔地ヨリ至ル者等アリテ容易ニ之ヲ鑑別スル能ハサラン然レトモ是等ノ事ハ其地ノ警察署ニ在テハ固ヨリ既ニ熟知スル所ノ者ナルカ故ニ即チ該署ヲ經由セシメハ大ニ府縣廳ノ處辨ニ便宜ヲ得ヘキヲ以テ爾セシノミ畢竟原案ノ確實ト認ムル云云ニ換ユルニ此經由ノ文字ヲ以テセシニ過キサルナリ其第三ノ問ハ本案第五條中「其時時」ノ文字ヲ省キシハ或ハ放任主義ニ出ル者ナリヤト言フニ在ルモ是レ決シテ然ラス唯其煩累ヲ避ケタルニ外ナラス但シ第六條ニ「毎年一月七

月內務陸軍海軍ノ三省ニ申報スヘシ」ト有ルヲ以テ必ス一月七月ノ間ニハ之ヲ申報セサルヲ得サルヲ以テ其處理ニ障碍ナキヲ知ル可キナリ且免許鑑札料ハ原案ニ於ルモ之ヲ納付セシメサルノ意ナルヲ以テ本案モ亦之ニ倣ヒシノミ

○廿三番（柴原和）卅三番ノ答辨ニ由ルモ尚ホ未タ會得スル能ハサル者アリ卅三番ノ假令第一條但書ニ自用ノ裝彈ハ此限ニアラスト有ルモ第十一條第十二條ノ如ク職獵以下ノ者ニ於テ買受ル所ノ火藥ノ數量ヲ定ムル以上ハ其程限ヲ超ル能ハスト言フハ或ハ是ナルカ如キモ彼ノ第十六條西洋形船舶設備ノ大礮小銃用ノ裝彈ハ即チ航海者ノ非常ニ備フル者ナルヲ以テ固ヨリ夥多ノ裝彈ヲ要シ所謂室內射的烟火製造等ノ比ニ非サル可シ然ルモ尚ホ此第一條但書中ニ包

合スルヤノ疑團ナキ能ハサルハ如何ン又第四條中其地ノ警察署ヲ經由シ云云ノ文字ヲ加ヘシハ即チ原案第五條ノ本人ノ身元ヲ調査シ確實ナリト認ムル者云云ノ識別容易ナラサルカ故ニ之ニ換ユルニ此文字ヲ以テセリト云フモ本官ノ所見ヲ以テセハ原案ノ確實ナリト認ムル者云云ノ文字ヲ删除スルニ止メ而シテ特ニ警察署ヲ經由スル等ノ事ナキヲ可トス何トナレハ第四條ハ火藥ノ卸賣商小賣商タラント欲スル者ノ身分ヲ調査スルニ在レハ之ヲ警察署ニ委センヨリハ寧ロ其地ノ戸長ニ任スルノ適當ナルヲ知ル是レ獨リ本案ノミナラス其賣買上ニ關スル事項ハ概ネ戸長ノ關與スル所ナルヲ以テナリ畢竟是等ノ事ハ總テ府知事縣令ノ適宜ニ委任シテ可ナラン是ヨリ更ニ第四ノ問ヲ爲サン本案第九條末文ニ「但軍人幷ニ其他

ノ者ヨリ買受クル時ハ賣主ノ賣渡證書ヲ添ヘ屆出ツヘシ」ト有リ其軍人ハ明瞭ナルモ其他ノ者トハ將タ何人ヲ指スノ意ナリヤ既ニ第一條ニ「凡ソ火藥類ハ陸軍海軍兩省ノ外之ヲ製造スルヿヲ禁ズ」ト有ルトキハ苟モ海陸軍兩省ヲ除クノ外ハ他ニ之カ賣主タル可キ者ナキカ如シ或ハ云ン是レ軍人ノ貯藏セシ者ナリト果シテ然ラハ兩省ニ於テ之ヲ買上ケ更ニ拂下ノ手續ヲ爲ス可キ者トス若シ本案ノ如クンハ第一條ト相矛盾スルニ庶幾ラン且原案第十六條ニハ免許商ニシテ武官並ニ其他ノ者ヨリ所有ノ火藥裝彈雷管ヲ買受ケントスルトキハ其賣主ト連署シ使府縣廳ノ認可ヲ受クヘシト有リシモ本案ハ單ニ屆出ヲ爲スニ止ム是レ其提警上ニ於テ或ハ懸念ナシト爲サス亦是レ放任主義ノ然カラシムル所ナルカ第五ノ質疑ハ原案

第九條ノ末文ニ「其需用ノ火藥裝彈雷管ヲ買受クルヿヲ得云云」又其第十條中ニモ「火藥裝彈雷管ヲ買ハント欲スル時云云」ト有リテ共ニ雷管ノ文字ヲ掲ケシモ本案第十一條第十二條共ニ此文字ヲ除去セリ但シ其雷管ノ文字ハ裝彈中ニ含有スル者トナシテ然ルヤ否ヤ尋テ第六ノ問ヲ爲サン本案第十三條ハ即チ原案第十條ノ但書ヲ修正シテ此ニ移セシ者ナリ然ルニ原案ニハ「但陸海軍准士官以上ノ武官ニ限リ其省ノ認可證ヲ得テ此程限ヨリ三倍迄ノ數量ヲ買受クルヿヲ得」ト有ルモ本案ハ「陸軍海軍軍人ハ其省ノ許可ヲ得其證ヲ免許商ニ渡シ第十一條ニ掲ケタル職獵銃同一ノ數量ヲ買受ルヿヲ得」ト修正シ大ニ其區域ヲ廣メ其數量ヲ增セリ蓋シ本官始メ以爲ラク原案ノ意ハ准士官以上ノ者ヲシテ平常ヨリ射的遊獵ヲ修熟シ以

テ武技ヲ練達セシメントスルノ特典ナリト然ルニ本修正ニ至テ更ニ之ヲ一般ノ軍人ト改作シ而シテ其數量三倍ニ過ク可カラサルノ制ヲ一跳シテ以テ十倍ニ出シメントス果シテ是レ何ノ主義ニ出ルヤ請フ其比較ト權衡トノ由來スル所ヲ聽ン第七本案第十四條ハ即チ原案第十一條ノ意義ヲ移セシ者ナリ而シテ原案ニハ「滿壹貫目迄ハ警察署壹貫目以上ハ使府縣廳ノ許可ヲ受ケ云云」ト有リテ其一貫目以下ハ警察署ニ於テ之ヲ許可シ一貫目以上ハ府縣廳ノ認可ヲ受ク可キ者トシテ危險豫防ノ爲メ之ヲ撿束セシカ如キモ本案ニハ其數量ノ程限ヲ解キ加フルニ府縣廳ノ許可ヲ待スシテ其使用ノ地ノ警察署ニ於テ許可證ヲ受ルニ止ム方今道路開鑿等ノ爲メニ火藥ヲ需用スル者殊ニ少ナカラス而シテ其使用ノ地タル多クハ邊鄙ニ屬

シ其警察署長モ亦極メテ卑官ノ者ナリ惟フニ斯ル警察署ヲシテ多量ノ火藥ノ使用ヲ許可セシムルカ如キハ寧ロ放任ノ甚シキ者ニ非サル莫キヲ得ンヤ故ニ本官ハ原案ノ用意周密ナルヲ可トスルモ仍ホ說アラハ之ヲ聞ント欲ス

○卅三番（伊丹重賢）　廿三番第二回ノ質問ニ答ヘン本案第九條末文ニ軍人幷ニ其他ノ者ヨリ買受クル時ハ云云ト有ル其他ノ者トハ例ヘハ獵師ノ不用ニ屬スル獵用火藥ヲ賣却セントスルノ類ヲ指スナリ而シテ軍人ハ射的用火藥ノ不用品等ヲ謂フニ在リ蓋シ從前ハ其賣買ヲ爲スニ雙方連署シテ屆出ルノ例ナリシト雖モ火藥ノ貯藏ハ極メテ危險ナル者ナルヲ以テ漫ニ之ヲ平人ノ手ニ貯有セシメンヨリ免許商ノ倉庫ニ蓄藏セシムルノ牢固ナル勿論ナレハ設令其賣却ヲ誘導

スルモ不可ナキノ理ナルニ拘ハラス原案ノ如ク賣買雙方連署シテ管轄廳ノ認可ヲ受ケシムルカ如キハ其手數鄭重ニ涉リ爲メニ賣主ハ煩勞ヲ厭フノ念ヲ生シ漫ニ貯藏者多キヲ致サン此ノ如キハ遂ニ火藥取締ノ本旨ニ非サル可シ然レトモ其出所ハ必ス詳知セサルヲ得サル者ナルヲ以テ即チ賣渡證書ヲ添ヘテ屆出ヘキ者トナセリ要スルニ專ラ賣渡シノ手數ヲ簡易ニシ以テ其漫ニ貯藏スル者無ラシメント欲スルナリ又第十一條第十二條ニ雷管ノ字ヲ除去セシハ即チ裝彈中ニ含蓄スルノ意ナリヤトノ問アリ然ルニ雷管ヲ删除セシハ是レ敢テ危險ナル者ニ非ストシテ然ルノミ今試ミニ一雷管ヲ取テ爐中ニ投スルモ僅ニ爆聲アルニ過キス之ヲ危險ナリトシテ恐怖セシハ幾ント怪訝ス可キニ似タリ蓋シ原案起草ノ當時ニ在テハ尙

ホ未タ室內銃ニ裝彈ヲ用ヒシコト無キカ故ニ爾セルナラン今ヤ室內銃ニモ總テ裝彈ヲ用ユルニ至レルトキハ何ソ特ニ雷管ヲ揭クルヲ須ヒン又原案第十條但書ナル本案第十三條中准士官以上ノ武官ナリシヲ進ンテ陸軍海軍軍人トナシ且職獵銃同一ノ數量ヲ買受ルヲ得セシメシ所以ヲ述ンニ凡ソ軍人ハ一般ニ射的ヲ允許セラル、者ナルカ故ニ其平素射的ノ伎ヲ熟修スルハ固ヨリ其分ノ存スル所トス然ラハ則チ之ヲ准士官以上ニ止メンヨリ普ク軍人一般ニ及シ以テ其伎藝ヲ練達セシムルノ得策タルニ如カス是レ此修正ノ大意ナリ且其數量ヲ職獵銃ト同一ニセシハ軍人ノ射的ニ用ユルト獵師ノ職獵ニ用ユルト其理素ヨリ相似タルヲ以テノ故ノミ又本案第十四條ハ專ラ警察署ノ許可證ヲ受ク可キ者トシ原案第十一條ニ揭ク

ル滿壹貫目迄ハ警察署壹貫目以上ハ其管轄廳ノ認可ヲ受ク可シトセシノ意ニ異ナルハ寧ロ放任主義ニ非サル無ランヤト言フモ決シテ然ラス何トナレハ其實地ニ於テ果シテ坑業土工等ニ使用スルヤ否ヤ且其危險奈何ヲ鑒別スルノ事ハ其地ノ警察署ニ非サレハ終ニ府縣廳ノ能スル所ニ非ス況ンヤ其坑業ノ如キハ多ク府縣廳ニ懸隔セシ山谷ノ間ニ在テ使用スル者ナルニ於テヲヤ然ルニ其地ノ警察署ノ如キハ常ニ其事業ヲ聞見熟知スル者ナルヲ以テ太タ其實ヲ得ルニ易ク且其使用者ニ於テモ數里懸隔ノ管廳ニ往復スルノ勞ヲ免カレ實ニ是レ官民ノ兩便ト謂フ可キ者ナリ蓋シ從前ト雖モ既ニ工人各自ノ爲ス所ニ任セシ者ナルトキハ此取締規則ニ於テモ宜シク其便利ヲ得セシムヘシ

○廿三番（柴原和）　卅三番ノ答辨中准士官以上ト有ルヲ軍人一般ト爲シ且雷管ノ文字ヲ省キタル等ノ修正ハ克ク其意ヲ了解スト雖モ其第十四條ノ坑業土工等ノ使用ニ供スル火藥類ヲ買取スルニ其地ノ警察署ノ許可證ヲ受ケハ多量ノ火藥ヲ買受ルヲ得ルノ一事ニ至テハ未タ以テ是トスル能ハス蓋シ其警察署ノ事タル相當ノ警官之ヲ掌ル者トセハ猶ホ可ナルモ若シ卑官小吏ヲシテ之ヲ處理セシメ偶マ方今囂囂タル福島事件ノ如キ擧措アルニ遭ハハ豈其レ危殆ナラストナ言フヲ得ンヤ是等ハ須ラク逐條議ヲ待テ陳述スル所アルヘシ亞テ第八ノ問ヲ爲サン本案第十五條ニ「免許商火藥類ヲ外國人ニ賣渡シ又ハ免許商其他ノ者外國人ヨリ特殊ノ火藥類ヲ買受ントスル時ハ其旨趣及ヒ種類數量ヲ詳記シ本人住居ノ地若クハ使用ノ地ニ於

テ警察署ノ認可ヲ受ケ開港開市場之レアル府縣廳ニ願出テ許可ヲ乞フヘシ但銃獵免狀ヲ所持スル外國人ニ火藥類ヲ賣渡サントスル時ハ第十二條ニ依ルヘシ」ト有ルヲ以テ其外國人ニ賣渡シヲ爲シ又ハ彼レヨリ買受ルノ手續ニ於テハ共ニ分明ナリト雖モ其買受ルノ數量ニ程限ヲ示ササルハ何如ン蓋シ外國人ニ賣渡スニハ既ニ第十二條ノ程限ヲ以テスルニ拘ラス其買受ヲ爲スハ敢テ程限ヲ要セストナスカ蓋シ原案第十三條ノ如キ「獵銃射的銃拳銃等ノ內特殊ノ銃器ニ用フル火藥裝彈雷管若クハ坑業其他開鑿等ニ用フル爆發火藥ヲ外國人ヨリ買入ントスル時ハ其買受人又ハ免許商ヨリ使府縣廳ヘ願出テ使府縣廳ハ陸軍省其海用ニ係ルモノハ海軍省ヘ具申シ其指揮ヲ乞フヘシ」ト有リテ撿束提警ノ意自カラ字面ニ明顯セリ惟フ

ニ本案果シテ買受ルノ數量ニ程限ナキノ意ナランニハ寧ロ原案ノ如ク程限ヲ付スルヲ以テ勝レリトス其程限ヲ付セサルハ別ニ理由ノ存スル有リテ然ルヤ又本案第十七條ハ修正委員ノ新設ニ係リ凡ソ火藥貯藏ノ數量ヲ算スルノ方法ヲ示セル者ナリ然ルニ本條ノ如キ原案中未タ嘗テ見サル所ノ者ナルモ既ニ之ヲ添補セシハ必ス其要用アリテ然ルナラン本官未タ其要アルヲ知ラス請フ之ヲ聞ン是レ第九ノ質問トス其質問ノ第十ハ本案第二十條ニシテ此條最モ疑團多キニ居ル先ツ條中官舍人ノ住スル建造物ノ本條ノ例ニ從フ可キハ曉得セルモ其官舍人ノ住スル庭園ニ至リテハ則チ之ヲ不問ニ措クノ意ナリヤ又宅地ト有ルモ東京府下ノ如キハ各區皆宅地ナリ然ルニ其間或ハ數萬坪ノ宅地中建造物ハ僅ニ數十坪ニ過サル者ア

ルモ均シク是レ宅地ノ稱謂ナルヲ以テ之ヲ彼ノ官舍人ノ庭園ノ不問ニ措クニ比セハ彼此權衡ヲ得サルカ如シ且彼ノ赤坂青山芝ノ離宮ノ如キモ其近傍ハ皆民有ノ宅地ナラサルハ無シ然ラハ則チ第十九條ニ其制限ヲ立ルモ自カラ之レト相矛盾スルニ似タリ次ニハ國道縣道鐵道ト有リテ里道ナキ是レナリ夫レ道路ノ制タル國道縣道里道ニ區分スル者トス而シテ國道縣道ハ姑ク措キ其一等里道ハ彼此數區ヲ串通シ或ハ甲區ヨリ乙區ニ達シ二等ハ用水堤防牧畜坑山又ハ各製造所等ノ爲メ該區人民ノ協議ニ依リテ別段ニ設クル者ニシテ三等ハ神社佛閣及田畑耕耘ノ爲メニ設クル者トス是レ九年第六十號公達ノ定ムル所ニシテ固ヨリ公ケニ稱道スル者ナリ然ルニ本條ハ唯其國道縣道ノミニ限リ火藥ノ危險ヲ避ケシメ而シテ里道

ヲ制外ニ置シハ抑モ何ノ意アリテ然ルヤ里道豈發火ノ虞ナシト言フヲ得ン故ニ本官ハ原案ノ如ク里道ヲ明記スルヲ可ナリトス請フ辨明アランコトヲ

○卅三番（伊丹重賢）　廿三番第三回ノ質問中本案第十七條ハ說ノ如ク原案ニ之レ無クシテ修正委員ノ新タニ本案ニ加ヘタル者ナリ今其旨趣ヲ述ンニ譬ヘハ裝彈ノ數量ヲ算スルニ單ニ千發ト言フモ其裝彈ノ種別ニ依リ火藥ニ多少ノ差アリテ其量或ハ一匁ナリヤ又ハ五分ナリヤヲ知ルニ由シ無シ然ルニ本案ノ如ク裝彈烟火モ均シク火藥ノ量目ヲ以テ算シ各種火藥ハ之ヲ合算スルトキハ其貯額ヲ知ル最モ便ナリトス本官等ノ用意ハ唯此點ニ在ルノミ又第二十條ニ對シ縷縷ノ說アリ而シテ廿三番ハ官舍人ノ住スル建造物ト連讀セシモ是

レ官舍ト人ノ住スル建造物トノ二物ヲ揭クルノ意ニシテ或ハ官舍ト人ノ住スルノ間ニ句點ヲ附ス可キ所ナランカ又宅地云云ノ事ニ於テハ本官等ヲシテ既ニ大ニ腦裏ヲ疾シメタリ例ヘハ此ニ曾テ火藥庫ノ設ケ有ル地ニ沿フテ貳拾間四面ノ空地アランニ其現況ヲ觀レハ宅地ノ例ニ依ラスシテ可ナルカ如キ者ナルモ元ト是レ宅地ト稱スル者ナルトキハ那時家屋ヲ建造スル有ランモ知ル可ラス然ルニ既ニ傍近ニ火藥庫アリトシテ其建造ヲ禁スルカ如キハ啻ニ宅地所有主ノ權利ヲ失ハシムルノミナラス道理ニ於テモ未タ其當ヲ得サルニ似タリ或ハ一旦火藥庫ヲ建設スル有ルモ地形ノ變換ニ隨ヒ異日之ヲ他所ニ移轉セシムルニ妨ケナシト言フノ論アルモ未タ以テ穩當ト爲サス果シテ然ラハ之ヲ何如シテ可ナラント論究ノ末終

ニ本條但以下ノ如ク假令宅地ナルモ其所有主ニシテ距離程限ニ從フトキハ火藥庫ヲ設置スルコトヲ得ル者トシテ自他共ニ一餘地ヲ與ヘ豫シメ他日ノ紛紜ヲ防制セシナリ次ニ國道縣道鐵道ヲ掲ケ而シテ里道ヲ省キタル所以ヲ述ンニ夫ノ里道ト稱スルハ大抵ノ小道路モ皆其中ニ包括スル者ナルヲ以テ是等モ亦敢テ危險ノ虞ナシト謂フ可ラスト雖モ若シ之ヲ併掲セハ假令其豫防ハ盡セリトスルモ火藥貯藏者ヨリ之ヲ觀レハ其區域大ニ狹隘ニ過キ火藥庫設置ニ困シムノ感アラン故ニ里道ヲ此ニ省キテ以テ其有餘ヲ與ヘシナリ其是否如何ニ至テハ固ヨリ各位ノ任意ナリトス

○廿三番（柴原和）　縷縷答辨ヲ得タルモ本案第十五條免許商其他ノ者ニシテ外國人ヨリ買受ル特殊ノ火藥類ニ數量ノ程限ナキカ如キハ如何ト言ヘル第八次ノ質問ニ對シテハ未タ其辨明ヲ得ス請フ更ニ之ヲ擧示センコトヲ次テ第十一ノ間ヲ起サントス本案第廿三條ニ「火藥庫ヲ設置シタル後ハ第廿條ニ定メタル距離内ニ人ノ住スル建造物ヲ建築スルヲ許サス」ト有ルハ是レ火藥庫ヲ設置セラレタルカ爲メニ政府定ムル所ノ眞正ノ地劵ヲ得テ確實ナル所有權ヲ保有スルモ遂ニ其距離ノ程限ニ制セラレ自己ノ住スル建造物ヲモ建築スルヲ得サルカ如シ原案絶テ此事ナシ然ルニ修正委員ノ假令其所有權ヲ失ハシムルモ必ス此ノ如クセサル可ラスト斷定セシ理由ハ如何ン又第廿四條ニ地方廳ノ文字ヲ掲クルモ本案中ニ散見スル所ハ咸ナ府縣廳ト有リ其地方廳ト有ルハ本條ニ限ルカ如シ此ニ特書セシハ其府縣廳ニ論ナク郡役所モ亦此中ニ包含スルノ意ナリヤ抑モ偶